

## 参考資料

### 1. 基礎調査資料

#### (1) 市民意識調査

【実施概要】(再掲)

- ・調査対象：市内に居住する市民 18 歳～69 歳の男女
- ・調査方法：WEB アンケートによる配信・回収
- ・調査期間：令和元年 12 月 21 日～23 日
- ・回収サンプル数：1,000 名

注：集計表中「SA」は単一回答、「MA」は複数回答を表す。

回答者特性

性別

項目	令和元年度	
	件	構成比
男性	489	48.9%
女性	511	51.1%
サンプル数 (%へ-入)	1,000	100.0%

年代

項目	令和元年度	
	件	構成比
18～29歳	188	18.8%
30～39歳	173	17.3%
40～49歳	251	25.1%
50～59歳	204	20.4%
60～69歳	184	18.4%
サンプル数 (%へ-入)	1,000	100.0%

問1 あなたの職業を教えてください。

項目	令和元年度	
	件	構成比
会社員	421	42.1%
公務員・団体職員	30	3.0%
自営業	45	4.5%
学生	52	5.2%
専業主婦・主夫	163	16.3%
パート・アルバイト	180	18.0%
無職(定年退職含む)	98	9.8%
その他	11	1.1%
サンプル数 (%へ-入)	1,000	100.0%

問2 あなたの世帯人数を教えてください。

項目	令和元年度	
	件	構成比
1人暮らし	125	12.5%
2人	259	25.9%
3人	293	29.3%
4人	244	24.4%
5人以上	79	7.9%
サンプル数 (%へ-入)	1,000	100.0%

参考資料 1 基礎調査資料

問3 同居者の属性について教えてください。

項目	令和元年度	
	件	構成比
未就学児がいる	149	17.1%
高齢者（65歳以上）がいる	242	27.7%
あてはまるものはない	487	55.7%
サンプル数（%ベース）	878	87.8%

問4 高槻市の居住年数について教えてください。

項目	令和元年度	
	件	構成比
1年未満	23	2.3%
1～5年未満	115	11.5%
5～10年未満	97	9.7%
10～20年未満	182	18.2%
20年以上	583	58.3%
サンプル数（%ベース）	1,000	100.0%

問5 あなたは日頃、買い物や食事をどこでされていますか。

品目ごとに、よく利用する場所を全てお選びください。（各MA）

項目	生鮮食料品		その他の食料品		日用雑貨		衣類		外食	
	件	選択率	件	選択率	件	選択率	件	選択率	件	選択率
駅周辺の「お店・商店街」	451	45.1%	469	46.9%	442	44.2%	294	29.4%	547	25.5%
駅周辺以外の市内のお店・商店街	533	53.3%	533	53.3%	488	48.8%	257	25.7%	466	21.7%
市内のショッピングセンター等、大型店舗	456	45.6%	495	49.5%	567	56.7%	591	59.1%	405	18.9%
周辺市町（吹田市、茨木市、摂津市、島本町）	132	13.2%	143	14.3%	162	16.2%	218	21.8%	313	14.6%
大阪市や京都市等の都市	29	2.9%	47	4.7%	80	8.0%	315	31.5%	344	16.0%
その他	20	2.0%	26	2.6%	17	1.7%	49	4.9%	11	0.5%
この品目は日頃購入しない	46	4.6%	28	2.8%	24	2.4%	37	3.7%	58	2.7%
サンプル数	1,667	-	1,741	-	1,780	-	1,761	-	2,144	-

問6 あなたは日頃、買い物や食事をする場合、どのようなお店を利用されますか。

品目ごとに、よく利用する場所を全てお選びください。（各MA）

項目	生鮮食料品		その他の食料品		日用雑貨		衣類		外食	
	件	選択率	件	選択率	件	選択率	件	選択率	件	選択率
商店街や近くの小売店	183	18.3%	192	19.2%	140	14.0%	211	21.1%	182	18.2%
食品スーパー	858	85.8%	791	79.1%	185	18.5%	15	1.5%	36	3.6%
大型スーパー	520	52.0%	537	53.7%	398	39.8%	390	39.0%	129	12.9%
デパート	137	13.7%	150	15.0%	109	10.9%	437	43.7%	186	18.6%
コンビニエンスストア	75	7.5%	213	21.3%	51	5.1%	7	0.7%	61	6.1%
ホームセンター	22	2.2%	47	4.7%	558	55.8%	35	3.5%	-	-
ドラッグストア	54	5.4%	180	18.0%	534	53.4%	7	0.7%	-	-
ディスカウントストア	72	7.2%	144	14.4%	270	27.0%	87	8.7%	-	-
個人経営の飲食店	28	2.8%	42	4.2%	-	-	-	-	452	45.2%
飲食チェーン店	41	4.1%	48	4.8%	-	-	-	-	767	76.7%
インターネット・通信販売	37	3.7%	79	7.9%	175	17.5%	339	33.9%	-	-
その他	13	1.3%	11	1.1%	8	0.8%	49	4.9%	6	0.6%
この品目は日頃購入しない	46	4.6%	28	2.8%	24	2.4%	37	3.7%	58	5.8%
サンプル数	2,086	-	2,462	-	2,452	-	1,614	-	1,877	-

問7 あなたは日頃、「近所のお店・商店街」をどのくらい利用されますか。（SA）

項目	令和元年度	
	件	構成比
ほぼ毎日	127	12.7%
週に3～4回	225	22.5%
週に1～2回	379	37.9%
1ヶ月に1～2回	171	17.1%
年に数回	76	7.6%
全く利用しない	22	2.2%
サンプル数	1,000	100.0%

問8 「近所のお店・商店街」の利用回数は、数年前と比べて変化していますか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
増加している	125	12.5%
変わらない	642	64.2%
減少している	172	17.2%
わからない	61	6.1%
サンプル数	1,000	100.0%

問9 あなたが日頃、買い物や食事をするときに利用する主な交通手段を教えてください。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
自動車	332	33.2%
自転車・バイク	349	34.9%
徒歩	220	22.0%
鉄道	43	4.3%
バス	55	5.5%
タクシー	0	0.0%
その他	1	0.1%
サンプル数	1,000	100.0%

問10 あなたが、日頃買い物や食事をするお店を選ぶ際に重視することを全て選んでください。  
また、その中で最も重視する一つを選んで下さい(MA/SA)

項目	重視する理由(MA)		最も重視する理由(SA)	
	件	選択率	件	選択率
値段が安い	658	65.8%	293	29.3%
近くて便利	554	55.4%	186	18.6%
品揃えが豊富	548	54.8%	124	12.4%
品質・サービスがいい	410	41.0%	127	12.7%
交通条件・立地がいい	363	36.3%	36	3.6%
雰囲気・接客態度がいい	295	29.5%	40	4.0%
駐車場が充実している	288	28.8%	48	4.8%
信用がおける	247	24.7%	40	4.0%
キャッシュレス対応	197	19.7%	25	2.5%
営業時間が長い	190	19.0%	6	0.6%
バーゲンなどが充実している	178	17.8%	10	1.0%
会員特典などが充実している	152	15.2%	10	1.0%
分煙・禁煙を実施している	87	8.7%	6	0.6%
子育て世代に配慮している	54	5.4%	6	0.6%
知名度が高い	50	5.0%	5	0.5%
アフターサービスが充実している	41	4.1%	5	0.5%
顔馴染みで懇意	33	3.3%	3	0.3%
個性的である	28	2.8%	1	0.1%
配達の仕事がある、配達または出張サービス	26	2.6%	1	0.1%
ホームページ等が充実している	25	2.5%	1	0.1%
高齢者に配慮している	20	2.0%	1	0.1%
障がい者に配慮している	9	0.9%	1	0.1%
ツケ買いができる	8	0.8%	-	-
わからない	25	2.5%	25	2.5%
サンプル数	4,486	-	1,000	100.0%

参考資料 1 基礎調査資料

問11 あなたは、近所のお店や商店街での買物について満足していますか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
不満がある	166	16.6%
満足している	834	83.4%
サンプル数 (%ベース)	1,000	100.0%

問12 「近所のお店や商店街での買物」への不満を3つまで選んで下さい。(MA/3つまで)

項目	令和元年度	
	件	選択率
値段が高い(割引がない)	55	33.1%
品揃えが悪い	49	29.7%
1カ所でまとめて買えない	38	22.9%
気に入った商品がない	36	21.5%
駐車場・自転車置き場がない	30	18.2%
お店や商店街に活気や魅力がない	26	15.7%
店に入りにくい	18	11.1%
品質・鮮度が悪い	18	10.9%
営業時間が短い	16	9.9%
接客が悪い	16	9.7%
ポイント・スタンプサービスがない	9	5.7%
チラシなど広告・宣伝がない	4	2.7%
ホームページやWeb広告がない	4	2.3%
安心して買物ができない	3	1.8%
その他	16	9.9%
サンプル数	340	-

問13 あなたは、近所にどのような店舗があればよいと思いますか。(MA)

項目	令和元年度	
	件	選択率
中小専門店	158	15.8%
大型専門店	269	26.9%
スーパーマーケット	407	40.7%
コンビニエンスストア	276	27.6%
ドラッグストア	302	30.2%
ホームセンター	278	27.8%
ディスカウントストア	208	20.8%
飲食チェーン店	304	30.4%
個人経営の飲食店	198	19.8%
デパート	141	14.1%
その他	50	5.0%
サンプル数	2,591	-

問14 高槻市内のそれぞれのお店に、どのようなことを取り組んでほしいと思いますか。  
 「このような取り組みがあれば、ご自身の利用頻度が上がる」と思うもの全てを選んで下さい。  
 また、その中でも最も取り組んでほしいと思うもの一つを選んで下さい。(MA/SA)

項目	取り組んでほしい(MA)		最も取り組んでほしい(SA)	
	件	選択率	件	構成比
品質の良い商品・サービスの提供	589	58.9%	376	37.6%
とにかく安い商品・サービスの提供	497	49.7%	276	27.6%
趣味性・こだわりのある商品・サービスの提供	249	24.9%	64	6.4%
落ち着いた雰囲気	234	23.4%	46	4.6%
商品知識が豊富な店員の接客	174	17.4%	36	3.6%
販売促進等のイベントの実施	128	12.8%	30	3.0%
楽しいコミュニケーション	114	11.4%	19	1.9%
ブランド性の高い商品・サービスの提供	95	9.5%	25	2.5%
各店舗によるバリアフリー推進	75	7.5%	18	1.8%
その他	16	1.6%	14	1.4%
現状のままでよい	97	9.7%	97	9.7%
サンプル数 (%ベース)	2,268	-	1,000	100.0%

問15 高槻市の商店街をよくするために取り組んで欲しいことをすべて選んでください。  
 また、その中で最も取り組んでほしいと思うことをひとつ選んでください。(MA/SA)

項目	取り組んでほしい(MA)		最も取り組んでほしい(SA)	
	件	選択率	件	構成比
駐車場・自転車置き場の設置	385	38.5%	167	16.6%
キャッシュレス対応	284	28.4%	104	10.4%
空き店舗の活用	272	27.2%	61	6.1%
休憩場所やトイレ・ベンチの設置	254	25.4%	57	5.7%
ポイント・スタンプカードの導入	219	21.9%	46	4.6%
こだわりや個性のあるお店づくり	188	18.8%	56	5.6%
地元らしさや地域の資源を生かした商品・サービスの展開	180	18.0%	67	6.7%
有名チェーン店の誘致	169	16.9%	59	5.9%
共同売り出しやセール開催	166	16.6%	47	4.7%
防犯カメラの設備	156	15.6%	22	2.2%
商店街祭りなどイベント開催	150	15.0%	25	2.5%
不足業種の誘致	146	14.6%	27	2.7%
商店街全体の統一感の形成	127	12.7%	28	2.8%
花や緑のある商店街づくり	123	12.3%	22	2.2%
インターネット・ホームページの活用	120	12.0%	13	1.3%
お店・商店街のオリジナル商品の開発	106	10.6%	18	1.8%
宅配サービス	92	9.2%	16	1.6%
商店街のバリアフリー化	91	9.1%	9	0.9%
食品トレイ・牛乳パックなどのリサイクル	80	8.0%	8	0.8%
交流スペースの設置	66	6.6%	5	0.5%
小中学生などの商店街での体験学習	57	5.7%	6	0.6%
エコマネー・地域通貨の導入	42	4.2%	9	0.9%
チャレンジショップの設置	33	3.3%	3	0.3%
その他	13	1.3%	8	0.8%
現状のままでよい	117	11.7%	117	11.7%
サンプル数 (%ベース)	3,636	-	1,000	100.0%

参考資料 1 基礎調査資料

問16 高槻市内の商業の賑わい・活気・魅力づくりを行うために必要だと思うものをすべて選んで下さい。(MA)

項目	令和元年度	
	件	選択率
駐車場・自転車置き場の設備	448	44.8%
商店街の活性化	410	41.0%
家族や友人と楽しめる飲食店の出店	346	34.6%
日常使いのための専門スーパーの出店	272	27.2%
道路、交通網の設備	271	27.1%
街並み・景観の設備	266	26.6%
集客の核となる専門小売店の出店	230	23.0%
大型店の出店	226	22.6%
周辺道路のバリアフリー化	148	14.8%
新たに創業する人への支援	145	14.5%
交通規制、案内板・標識の設備	137	13.7%
レストランや宴会場のあるホテルの進出	128	12.8%
その他	15	1.5%
サンプル数 (%ベース)	3,042	-

## (2) 商業事業者意向調査

### 【実施概要】(再掲)

- ・調査対象：市内に立地する商業の事業者
- ・調査方法：郵送による配布・回収
- ・調査期間：令和元年12月20日～令和2年1月13日
- ・配布数：400件 有効回収数：102件 有効回収率：25.5%

※平成23年の調査で同様の質問をしている場合は比較のため並べて記載する。

問1 あなたの性別を教えてください。

項目	令和元年度	
	件	構成比
男性	82	80.4%
女性	18	17.6%
無回答	2	2.0%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

問2 あなたの年齢を教えてください。

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
19歳以下	-	-	-	-
20歳代	2	2.0%	1	0.9%
30歳代	5	4.9%	8	7.5%
40歳代	16	15.7%	16	15.1%
50歳代	31	30.4%	22	20.8%
60歳代	14	13.7%	38	35.8%
70歳以上	33	32.4%	20	18.9%
無回答	1	1.0%	選択肢なし	
不明	-	-	1	0.9%
非該当	-	-	選択肢なし	
サンプル数	102	100.0%	106	100.0%

問3 あなたのお店の場所を教えてください。(SA)

項目	令和元年度
	件数
芥川町	15
高槻町	12
紺屋町	7
北園町、富田町	各6
原	5
唐崎	4
川添、栄町、城北町	各3
明野町、塚脇、野見町、東五百住町	各2
安満西の町、安満東の町、安岡寺町、大塚町、大手町、奥天神町、上田辺町、川久保、西面、津之江北町、登美の里町、南平台、萩之庄、白梅町、八丁畷町、氷室町、藤の里町、真上町、牧田町、松原町、南松原町、宮之川原、宮之川原元町、柳川町、淀の原町	各1
無回答	5
合計	102

参考資料 1 基礎調査資料

問4 お店の創業年数は何年目ですか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
5年以内	9	8.8%
6-10年	5	4.9%
11-15年	10	9.8%
16-20年	5	4.9%
21-30年	7	6.9%
31-40年	9	8.8%
41-50年	19	18.6%
51-100年	24	23.5%
101-200年	6	5.9%
201年以上	4	3.9%
無回答	4	3.9%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

問5 お店の従業者数は何人ですか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
1-3人	41	40.2%	60	56.6%
4-9人	30	29.4%	28	26.4%
10-19人	8	7.8%	6	5.7%
20-49人	10	9.8%	6	5.7%
50-99人	4	3.9%	4	3.8%
100人以上	8	7.8%	1	0.9%
無回答	1	1.0%	選択肢なし	
不明	選択肢なし		1	0.9%
非該当	-	-	選択肢なし	
サンプル数	102	100.0%	106	100.0%

問6 ご商売の形態を教えてください。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
卸売業	4	3.9%	6	5.7%
小売業	54	52.9%	55	51.9%
飲食業	20	19.6%	43	5.7%
サービス業	12	11.8%		
その他	5	4.9%	選択肢なし	
無回答	7	6.9%	選択肢なし	
不明	-	-	2	1.9%
非該当	-	-	選択肢なし	
サンプル数	102	100.0%	106	100.0%

問7 事業所の経営形態を教えてください。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
株式会社	35	34.3%	37	34.9%
有限会社	14	13.7%	20	18.9%
合同会社	-	-	選択肢なし	
L L P (有限責任事業組合)	-	-	選択肢なし	
個人経営	44	43.1%	46	43.4%
その他法人	7	6.9%	2	1.9%
無回答	2	2.0%	選択肢なし	
不明	-	-	1	0.9%
非該当	-	-	選択肢なし	
サンプル数	102	100.0%	106	100.0%



問 8 お店及び土地の所有はどのようになっていますか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
土地、建物とも所有	59	57.8%	56	52.8%
土地は借地、建物は所有	6	5.9%	6	5.7%
土地は所有、建物は借家	-	-	-	-
土地、建物とも借地、借家	36	35.3%	40	37.7%
無回答	1	1.0%	選択肢なし	
不明	-	-	4	3.8%
非該当	-	-	選択肢なし	
サンプル数	102	100.0%	106	100.0%

問 9 今の事業をはじめた(継いだ)理由は何ですか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
先代かその以前からしており、自然に継いだ	41	40.2%	42	39.6%
親や親類に勧められて	5	4.9%	5	4.7%
親会社(本社)の方針	8	7.8%	選択肢なし	
以前からその仕事(商売)をやっていた	27	26.5%	28	26.4%
事業分野として成長が期待できると思った	3	2.9%	10	9.4%
とりにあらず高機に戻る(とどまる)手段として	1	1.0%	1	0.9%
M&Aのため	-	-	選択肢なし	
この事業分野を継続させたかった	4	3.9%	選択肢なし	
特に理由はない	2	2.0%	2	1.9%
その他	8	7.8%	14	13.2%
無回答	3	2.9%	選択肢なし	
不明	-	-	4	3.8%
非該当	-	-	選択肢なし	
サンプル数	102	100.0%	106	100.0%

問 10 最近5年程度の経営状況について、どのように感じていますか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
とても順調	8	7.8%	2	1.9%
どちらかといえば順調	13	12.7%	12	11.3%
ほぼ横ばい	23	22.5%	13	12.3%
どちらかと言えば厳しくなっている	26	25.5%	34	32.1%
非常に厳しくなっている	31	30.4%	40	37.7%
無回答	1	1.0%	選択肢なし	
「順調」合計	21	20.6%	14	13.2%
「厳しくなっている」合計	57	55.9%	74	69.8%
不明	-	-	5	4.7%
非該当	-	-	選択肢なし	
サンプル数	102	100.0%	106	100.0%

問 11 顧客の状況について、固定客数の割合はどれくらいですか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
0～20%	7	6.9%
21～40%	23	22.5%
41～60%	23	22.5%
61～80%	24	23.5%
81%以上	17	16.7%
不明	6	5.9%
無回答	2	2.0%
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

参考資料 1 基礎調査資料

問 1 2 顧客の状況について、固定客売上の割合はどれくらいですか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
0～20%	7	6.9%
21～40%	19	18.6%
41～60%	22	21.6%
61～80%	25	24.5%
81%以上	19	18.6%
不明	7	6.9%
無回答	3	2.9%
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

問 1 3 ①仕入れがある場合は、商品の仕入れ先の割合を教えてください。(市内) (SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
0～20%	70	68.6%
21～40%	8	7.8%
41～60%	6	5.9%
61～80%	5	4.9%
81%以上	5	4.9%
不明	8	7.8%
無回答	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

問 1 3 ②仕入れがある場合は、商品の仕入れ先の割合を教えてください。(大阪府内) (SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
0～20%	41	40.2%
21～40%	14	13.7%
41～60%	7	6.9%
61～80%	14	13.7%
81%以上	18	17.6%
不明	8	7.8%
無回答	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

問 1 3 ③仕入れがある場合は、商品の仕入れ先の割合を教えてください。(大阪府外) (SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
0～20%	56	54.9%
21～40%	10	9.8%
41～60%	4	3.9%
61～80%	10	9.8%
81%以上	14	13.7%
不明	8	7.8%
無回答	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

問 1 3 ④仕入れがある場合は、商品の仕入れ先の割合を教えてください。(海外) (SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
0～20%	94	92.2%
21～40%	-	-
41～60%	-	-
61～80%	-	-
81%以上	-	-
不明	8	7.8%
無回答	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

問 1 4 ①パート・アルバイトの従業員数の過不足状況を教えてください。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
過剰	3	2.9%
やや過剰	2	2.0%
適正	48	47.1%
やや不足	18	17.6%
不足	5	4.9%
無回答	26	25.5%
「過剰」合計	5	4.9%
「不足」合計	23	22.5%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

問 1 4 ②若手社員の従業員数の過不足状況を教えてください。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
過剰	1	1.0%
やや過剰	1	1.0%
適正	30	29.4%
やや不足	15	14.7%
不足	12	11.8%
無回答	43	42.2%
「過剰」合計	2	2.0%
「不足」合計	27	26.5%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

問 1 4 ③中堅社員の従業員数の過不足状況を教えてください。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
過剰	1	1.0%
やや過剰	1	1.0%
適正	35	34.3%
やや不足	13	12.7%
不足	6	5.9%
無回答	46	45.1%
「過剰」合計	2	2.0%
「不足」合計	19	18.6%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

参考資料 1 基礎調査資料

問 1 4 ④ベテラン社員の従業員数の過不足状況を教えてください。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
過剰	2	2.0%
やや過剰	6	5.9%
適正	42	41.2%
やや不足	6	5.9%
不足	4	3.9%
無回答	42	41.2%
「過剰」合計	8	7.8%
「不足」合計	10	9.8%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

問 1 5 人材不足の原因は何だと思いますか。／問 1 4 で「不足」選択者 (MA)

項目	令和元年度	
	件	選択率
募集しても応募がなかった	15	25.4%
求めていた人材を採用できなかった	13	22.0%
採用したものの定着しなかった	16	27.1%
募集のためのノウハウが不足していた	3	5.1%
募集のための人員が不足していた	2	3.4%
募集のための資金が不足していた	4	6.8%
その他	4	6.8%
無回答	2	3.4%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	59	-

問 1 6 人材不足に対して、どのような対策をしていますか。／問 1 4 で「不足」選択者 (MA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
人材育成に注力	19	32.2%
定年延長	4	6.8%
シニア雇用の比率を増やす	7	11.9%
外国人留学生等を採用する	3	5.1%
労働条件の見直し	11	18.6%
従業員の配置転換	6	10.2%
その他	3	5.1%
特にない	5	8.5%
無回答	4	6.8%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	62	105.1%

問 1 7 外国人留学生等の活用について、どのようにお考えですか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
既に採用・当面、現状維持	3	2.9%
既に採用・一層積極化したい	3	2.9%
過去に採用した経験がある	7	6.9%
今後採用を考えたい	13	12.7%
今後とも採用する予定はない	72	70.6%
無回答	4	3.9%
採用経験あり計	13	12.7%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

問18 家計を維持するうえで、商店経営以外に収入を得ていますか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
はい(兼業)	26	25.5%	22	20.8%
いいえ(専業)	71	69.6%	83	78.3%
無回答	5	4.9%	選択肢なし	
不明	-	-	1	0.9%
非該当	-	-	選択肢なし	
サンプル数	102	100.0%	106	100.0%

問19 ①あなたのお店でお客さんが買物をする(サービスを受ける)と思う理由をすべて選んでください。(MA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
近くて便利である	51	50.0%
値段が安い	20	19.6%
品揃えが豊富である	30	29.4%
品質(サービス)が良い	60	58.8%
個性的である	31	30.4%
ホームページ等が充実している	15	14.7%
キャッシュレス対応をしている	13	12.7%
顔馴染で懇意にしている	44	43.1%
信用がおける	57	55.9%
雰囲気、接客態度が良い	40	39.2%
交通条件(立地)が良い	36	35.3%
駐車場が充実している	14	13.7%
配達の仕事がある(配達または出張サービス)	20	19.6%
アフターサービスが充実している	18	17.6%
ツケ買いができる	9	8.8%
バーゲンなどが充実している	4	3.9%
会員特典などが充実している	10	9.8%
営業時間が長い	14	13.7%
知名度が高い	22	21.6%
分煙・禁煙を実施している	9	8.8%
宗教的配慮をしている	2	2.0%
子育て世代に配慮している	5	4.9%
高齢者に配慮している	24	23.5%
わからない	1	1.0%
無回答	4	3.9%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	100.0%

参考資料 1 基礎調査資料

問 19 ②また、①の中で最も当てはまると思うものの番号をひとつ選んでください。(SA)

※H23年「店でお客さんが買い物をする(サービスを受ける)理由は」

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
近くて便利である	11	10.8%	11	10.4%
値段が安い	3	2.9%	7	6.6%
品揃えが豊富である	3	2.9%	6	5.7%
品質(サービス)が良い	15	14.7%	21	19.8%
個性的である	9	8.8%	選択肢なし	
ホームページ等が充実している	1	1.0%	選択肢なし	
顔馴染で懇意にしている	9	8.8%	10	9.4%
信用がおける	13	12.7%	15	14.2%
雰囲気、接客態度が良い	6	5.9%	8	7.5%
交通条件(立地)が良い	5	4.9%	5	4.7%
配達の仕事がある(配達または出張サービス)	3	2.9%	3	2.8%
アフターサービスが充実している	5	4.9%	5	4.7%
会員特典などが充実している	0	0.0%	1	0.9%
営業時間が長い	1	1.0%	-	-
知名度が高い	3	2.9%	1	0.9%
宗教的配慮をしている	2	2.0%	選択肢なし	
高齢者に配慮している	4	3.9%	選択肢なし	
わからない	1	1.0%	5	4.7%
その他	0	0.0%	2	1.9%
無回答	8	7.8%	選択肢なし	
不明	0	0.0%	6	5.7%
サンプル数	102	100.0%	106	100.0%

問 20 あなたのお店が高槻市に立地するメリットは何だと思いますか。(SA)

項目	令和元年度(2つまで)		平成23年度(複数回答)	
	件	構成比	件	構成比
顧客が獲得しやすい(市場として期待できる)	24	23.5%	28	26.4%
商品の工場や外注先に近い	-	-	2	1.9%
交通の便がよい	40	39.2%	50	47.2%
商品の問屋や卸売業者の立地が近い	6	5.9%	3	2.8%
従業員やパートが確保しやすい	4	3.9%	6	5.7%
地価や賃料が安い(妥当)	2	2.0%	8	7.5%
ライバル店が少ない(ない)	6	5.9%	10	9.4%
商店・事業所の集積がある	14	13.7%	12	11.3%
自分の店や業種の雰囲気に合っている	23	22.5%	35	33.0%
その他	17	16.7%	29	27.4%
無回答	10	9.8%	選択肢なし	
不明	-	-	6	5.7%
サンプル数	102	100.0%	106	100.0%

問 21 事業の跡継ぎ(後継者)の方はいらっしゃいますか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
いる	33	32.4%
いない	46	45.1%
希望はあるが、継いでくれるかどうかわからない	15	14.7%
支店・支社のため、わからない	4	3.9%
その他	2	2.0%
無回答	2	2.0%
サンプル数	102	100.0%

問 2 2 お店を今後、どのようにしたいと考えていますか。(SA)

項目	令和元年度		平成 2 3 年度	
	件	構成比	件	構成比
跡継ぎの代も含めて、今の場所で営業を続けたい	23	22.5%	27	25.5%
当面は今の場所で営業を続けたい	35	34.3%	36	34.0%
今の場所で続けたく、また良い場所があれば新規出店もしたい	11	10.8%	12	11.3%
よい場所があれば移りたい	3	2.9%	7	6.6%
商売をやめたい(やめる予定)	10	9.8%	10	9.4%
後継ぎ(後継者)に任せる	5	4.9%	4	3.8%
わからない	9	8.8%	5	4.7%
その他	2	2.0%	1	0.9%
無回答	4	3.9%	選択肢なし	
今の場所で続けたい計	69	67.6%	75	70.8%
不明	-	-	4	3.8%
非該当	-	-	選択肢なし	
サンプル数	102	100.0%	106	100.0%

問 2 3 ①営業を続けていくうえで、どのような展開をしたいと考えていますか。(MA)

／問 2 2 で「続けたい」回答者

項目	令和元年度	
	件	選択率
新商品や新たなサービスを開発していきたい	36	28.1%
市外へも積極的にPR・宣伝をしていきたい	21	16.4%
店舗面積を拡大したい	5	3.9%
今の店以外に新しい店舗を増やしたい	14	10.9%
事業の多角化(多業態・異業種展開)を図りたい	13	10.2%
通信販売やインターネットショッピングを拡充したい	11	8.6%
今のままで続けたい	20	15.6%
規模を小さくしたい	2	1.6%
特に考えていない	2	1.6%
その他	0	0.0%
無回答	4	3.1%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	128	-

問 2 3 ②また、①の中で最も展開したいと考えるものの番号をひとつ選んでください。(SA)

項目	令和元年度		平成 2 3 年度	
	件	構成比	件	構成比
新商品や新たなサービスを開発していきたい	22	30.6%	19	21.8%
市外へも積極的にPR・宣伝をしていきたい	9	12.5%	6	6.9%
店舗面積を拡大したい	2	2.8%	5	5.7%
今の店以外に新しい店舗を増やしたい	6	8.3%	12	13.8%
事業の多角化(多業態・異業種展開)を図りたい	3	4.2%	4	4.6%
通信販売やインターネットショッピングを拡充したい	5	6.9%	3	3.4%
今のままで続けたい	17	23.6%	24	27.6%
規模を小さくしたい	1	1.4%	3	3.4%
特に考えていない	2	2.8%	7	8.0%
その他	0	0.0%	2	2.3%
無回答	5	6.9%	選択肢なし	
不明	-	-	2	2.3%
非該当	-	-	選択肢なし	
サンプル数	72	100.0%	87	100.0%

参考資料 1 基礎調査資料

問 2 4 高槻市において、魅力的な個店を増やしていくためには、どのような取組が必要だと考えていますか。

(1) 自店に必要なこと(2つまで)

項目	令和元年度	
	件	選択率
運転資金・設備資金の支援	28	23.3%
経営・営業に関する専門家の指導・アドバイス	14	11.7%
マスコミ等を活用した積極的なPR	21	17.5%
店舗物件の紹介	5	4.2%
店舗の内外装工事に対する支援	14	11.7%
店舗同士のネットワークづくり	10	8.3%
魅力的なホームページの作成・改修に対する支援	16	13.3%
その他	4	3.3%
特になし	3	2.5%
無回答	5	4.2%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	120	-

問 2 4 高槻市において、魅力的な個店を増やしていくためには、どのような取組が必要だと考えていますか。

(2) まち全体に必要なこと(2つまで)

項目	自店に必要なこと(2つまで)		まち全体に必要なこと(2つまで)		平成23年度	
	令和元年度		令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比	件	構成比
運転資金・設備資金の支援	28	23.3%	15	12.5%	52	49.1%
経営・営業に関する専門家の指導・アドバイス	14	11.7%	14	11.7%	21	19.8%
マスコミ等を活用した積極的なPR	21	17.5%	39	32.5%	27	25.5%
店舗物件の紹介	5	4.2%	7	5.8%	12	11.3%
店舗の内外装工事に対する支援	14	11.7%	5	4.2%	25	23.6%
店舗同士のネットワークづくり	10	8.3%	18	15.0%	10	9.4%
魅力的なホームページの作成・改修に対する支援	16	13.3%	10	8.3%	選択肢なし	
その他	4	3.3%	2	1.7%	11	10.4%
特になし	3	2.5%	4	3.3%	16	15.1%
無回答	5	4.2%	3	2.5%	選択肢なし	
不明	-	-	-	-	4	3.8%
非該当	-	-	-	-	選択肢なし	
サンプル数	72	60.0%	72	60.0%	106	100.0%

問 2 5 あなたのお店が立地する商店街・商業集積の将来展望について、どのように考えていますか。

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
今後、大きな発展が期待できる	8	7.8%	3	2.8%
ある程度の発展が期待できる	19	18.6%	16	15.1%
現状維持が予想される	23	22.5%	-	-
縮小が予想される	24	23.5%	17	16.0%
今後、大きな縮小が予想される	3	2.9%	10	9.4%
わからない	10	9.8%	12	11.3%
商店街・商業集積に立地していない	12	11.8%	選択肢なし	
無回答	3	2.9%	選択肢なし	
不明	-	-	2	1.9%
非該当	-	-	選択肢なし	
サンプル数	102	100.0%	106	100.0%



問 2 6 お客さんがあなたのお店が立地する商店街・商業集積に不満があるとすれば、どんなことだと思いますか。(SA)／問 2 5で「商店街・商業集積地」立地者

項目	令和元年度	
	件	構成比
立地の悪さ	6	6.9%
業種構成の不十分さ	15	17.2%
各店の品揃えの不十分さ	3	3.4%
営業時間の短さ	0	0.0%
店舗間の休日のばらつき	1	1.1%
駐車場・駐輪場の不足	14	16.1%
入りにくい雰囲気、外観	3	3.4%
魅力的なイベントが実施されていない	4	4.6%
ポイント・スタンプサービスがない	0	0.0%
魅力的な店舗がない	8	9.2%
特に不満は持たれていない	10	11.5%
その他	7	8.0%
無回答	16	18.4%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	87	100.0%

問 2 7 ① あなたのお店が立地する商店街・商業集積で足りないものや、今後、取り組みたいことをそれぞれ選んでください。(MA)

項目	足りないもの 令和元年度		取り組みたいこと 令和元年度		平成 2 3 年度	
	件	構成比	件	構成比	件	構成比
イベントの企画などを行う事務局機能の強化	20	23.0%	18	20.7%	10	9.4%
ホームページ・SNS等を活用した集客	19	21.8%	25	28.7%	選択肢なし	
インバウンド対策	15	17.2%	13	14.9%	選択肢なし	
駐車場や駐輪場の整備	28	32.2%	8	9.2%	21	19.8%
空き店舗への対策	13	14.9%	7	8.0%	14	13.2%
後継者の育成	13	14.9%	9	10.3%	4	3.8%
新規開業店の誘致	15	17.2%	10	11.5%	11	10.4%
防犯カメラの設置	11	12.6%	4	4.6%	選択肢なし	
イベントスペースの確保	9	10.3%	4	4.6%	選択肢なし	
バリアフリー化や緑化など、安全・安心の環境づくり	14	16.1%	13	14.9%	9	
みんなが集まる場や機会など、コミュニティ機能の充実	23	26.4%	24	27.6%	10	9.4%
その他	5	5.7%	4	4.6%	1	
特になし	6	6.9%	10	11.5%	23	21.7%
無回答	14	16.1%	16	18.4%	選択肢なし	
不明	-	-	-	-	3	2.8%
非該当	-	-	-	-	選択肢なし	
サンプル数	87	100.0%	87	100.0%	106	100.0%

参考資料 1 基礎調査資料

問 2 7 ② また、①のうち最も当てはまることを選んでください。(SA)

項目	最も足りないもの		最も取り組みたいこと	
	令和元年度		令和元年度	
	件	構成比	件	構成比
イベントの企画などを行う事務局機能の強化	7	8.0%	6	6.9%
ホームページ・SNS等を活用した集客	8	9.2%	14	16.1%
インバウンド対策	2	2.3%	4	4.6%
駐車場や駐輪場の整備	13	14.9%	0	0.0%
空き店舗への対策	5	5.7%	4	4.6%
後継者の育成	3	3.4%	2	2.3%
新規開業店の誘致	6	6.9%	6	6.9%
防犯カメラの設置	4	4.6%	1	1.1%
イベントスペースの確保	3	3.4%	2	2.3%
バリアフリー化や緑化など、安全・安心の環境づくり	3	3.4%	4	4.6%
みんなが集まる場や機会など、コミュニティ機能の充実	6	6.9%	14	16.1%
その他	3	3.4%	3	3.4%
特にない	6	6.9%	10	11.5%
無回答	18	20.7%	17	19.5%
サンプル数	87	100.0%	87	100.0%

問 2 8 ① J R 高槻駅・阪急高槻市駅を中心とした「中心市街地」を「まちの顔」にふさわしいものにしていくため、あなたは、今後どのような取組が重要だと思いますか。(MA)

項目	令和元年度(3つまで)		平成 2 3 年度(複数回答)	
	件	構成比	件	構成比
自転車問題(不法駐輪など)の解消	26	10.7%	48	45.3%
歩行者の安全で快適な通行	28	11.5%	選択肢なし	
駐車場の充実	25	10.2%	41	38.7%
歩行者空間の安全性の向上	20	8.2%	38	35.8%
歩行者導線の確保・拡充	8	3.3%	選択肢なし	
イベントや催し物の充実	17	7.0%	29	27.4%
エリア全体の情報発信の強化	25	10.2%	32	30.2%
魅力ある個店の開業促進	34	13.9%	45	42.5%
駅前空きビルの再生	28	11.5%	43	40.6%
市民が集まるコミュニティ施設・文化施設の充実	15	6.1%	13	12.3%
その他	8	3.3%	8	7.5%
特にない	3	1.2%	4	3.8%
無回答	7	2.9%	選択肢なし	
不明	-	-	1	0.9%
サンプル数	244	100.0%	106	100.0%

問 2 8 ② また、①のうち最も必要と思うことは何ですか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
自転車問題(不法駐輪など)の解消	10	4.1%
歩行者の安全で快適な通行	9	3.7%
駐車場の充実	6	2.5%
歩行者空間の安全性の向上	5	2.0%
歩行者導線の確保・拡充	2	0.8%
イベントや催し物の充実	6	2.5%
エリア全体の情報発信の強化	10	4.1%
魅力ある個店の開業促進	21	8.6%
駅前空きビルの再生	11	4.5%
市民が集まるコミュニティ施設・文化施設の充実	2	0.8%
その他	7	2.9%
特にない	3	1.2%
無回答	10	4.1%
サンプル数	102	41.8%

問29 まちの安全や美化、にぎわいづくり等、「まちづくり」に貢献する活動について、  
どのように考え、現在どの程度参加していますか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
大切にあり、積極的に活動している	15	6.1%
大切にあり、できる範囲で参加している	36	14.8%
大切だと思うが、あまり参加できていない	28	11.5%
自分の店とはあまり関係がなく、必要なことだけ参加している	12	4.9%
必要がなく、参加していない(するつもりはない)	5	2.0%
無回答	6	2.5%
大切だと思う計	79	32.4%
参加あり計	63	25.8%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	41.8%

問30 今後、外国人観光客が増加し、自身の店舗に多数訪れた場合、対応できると思いますか。

項目	令和元年度	
	件	構成比
十分対応できる	12	4.9%
なんとか対応できる	40	16.4%
対応できない	33	13.5%
分からない	12	4.9%
無回答	5	2.0%
「対応できる」合計	52	21.3%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	41.8%

問31 今後、外国人観光客が増加し、自身の店舗に訪れてもらいたいと思いますか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
とてもそう思う	17	7.0%
そう思う	25	10.2%
どちらでもよい	33	13.5%
そう思わない	15	6.1%
全くそう思わない	6	2.5%
無回答	6	2.5%
「そう思う」合計	42	17.2%
「そう思わない」合計	21	8.6%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	41.8%

問32 顧客の中で多いと感じる層は、次のうちどれですか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
市民	72	29.5%
近隣都市	14	5.7%
遠方からの国内旅行者	2	0.8%
外国人旅行者	1	0.4%
分からない	5	2.0%
無回答	8	3.3%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	41.8%

参考資料 1 基礎調査資料

問 3 3 今後、市外からの来訪者が増加し、店舗へ立ち寄る人が増えることを望みますか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
とてもそう思う	28	11.5%
そう思う	37	15.2%
どちらでもよい	17	7.0%
そう思わない	14	5.7%
全くそう思わない	1	0.4%
無回答	5	2.0%
「そう思う」合計	65	26.6%
「そう思わない」合計	15	6.1%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	41.8%

問 3 4 本市の商業・サービス業に関する支援策でご存知のものを選んでください。(MA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
創業・個店の支援事業	37	15.2%
商業団体に対する支援事業	25	10.2%
中心市街地活性化を推進する事業	42	17.2%
創業者に対する支援事業	13	5.3%
中小企業事業資金融資制度	41	16.8%
商工会議所事業の支援	55	22.5%
各種情報提供事業	23	9.4%
無回答	20	8.2%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	41.8%

問 3 5 今後、新たにどのような支援に取り組んでほしいと考えていますか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
事業承継や後継者育成に対する支援	18	7.4%
観光と商業との連携に対する支援	29	11.9%
ホームページ、SNS等を活用した取組に対する支援	14	5.7%
「〇〇駅周辺」などエリアごとの活動への支援	9	3.7%
テーマ別（食・音楽・文化等）に連携する取組の支援	11	4.5%
その他	6	2.5%
無回答	15	6.1%
不明	-	-
非該当	-	-
サンプル数	102	41.8%

問36① 商業・サービス業の活性化に向けた支援・施策のうち、満足しているものを選んでください。(SA)

項目	満足している		不満がある	
	令和元年度		令和元年度	
	件	構成比	件	構成比
創業（開業）資金確保の支援	8	7.8%	9	8.8%
設備資金・運転資金確保の支援	13	12.7%	14	13.7%
経営者向け研修（経営、税務・会計、販売促進）	17	16.7%	7	6.9%
専門家の指導・アドバイス（窓口相談・訪問指導）	12	11.8%	8	7.8%
情報提供（中小企業向け支援制度等）	16	15.7%	13	12.7%
従業員向け研修・人材育成（パソコン、簿記等）	6	5.9%	7	6.9%
従業員の福利厚生の充実に対する支援（勤労者互助会）	6	5.9%	8	7.8%
国・府などの委託事業や補助金申請に関する事務支援	12	11.8%	8	7.8%
販路開拓や新商品開発に繋がるビジネスマッチング	4	3.9%	11	10.8%
他事業者等との交流の場・機会づくり（同業種・異業種交流等）	25	24.5%	5	4.9%
その他	5	4.9%	8	7.8%
無回答	41	40.2%	49	48.0%
不明	-	-	-	-
非該当	-	-	-	-
サンプル数	102	100.0%	102	100.0%

問36② 商業・サービス業の活性化に向けた支援・施策のうち、不満があるものを選んでください。(SA)

項目	最も満足している		最も不満がある	
	令和元年度		令和元年度	
	件	構成比	件	構成比
創業（開業）資金確保の支援	5	4.9%	3	2.9%
設備資金・運転資金確保の支援	9	8.8%	10	9.8%
経営者向け研修（経営、税務・会計、販売促進）	6	5.9%	3	2.9%
専門家の指導・アドバイス（窓口相談・訪問指導）	5	4.9%	4	3.9%
情報提供（中小企業向け支援制度等）	8	7.8%	6	5.9%
従業員向け研修・人材育成（パソコン、簿記等）	0	0.0%	2	2.0%
従業員の福利厚生の充実に対する支援（勤労者互助会）	1	1.0%	4	3.9%
国・府などの委託事業や補助金申請に関する事務支援	7	6.9%	4	3.9%
販路開拓や新商品開発に繋がるビジネスマッチング	0	0.0%	5	4.9%
他事業者等との交流の場・機会づくり（同業種・異業種交流等）	15	14.7%	4	3.9%
その他	4	3.9%	8	7.8%
無回答	42	41.2%	49	48.0%
不明	-	-	-	-
非該当	-	-	-	-
サンプル数	102	100.0%	102	100.0%

### (3) 製造業事業者意向調査

#### 【実施概要】(再掲)

- ・調査対象：市内に立地する製造業の事業者
- ・調査方法：郵送による配布・回収
- ・調査期間：令和2年1月24日～27日
- ・配布数：300件 有効回収数：112件 有効回収率：37.3%

※平成23年の調査で同様の質問をしている場合は比較のため並べて記載する。

問1 あなた(代表者の方)の性別を教えてください。

項目	令和元年度	
	件	構成比
男性	94	83.9%
女性	18	16.1%
サンプル数	112	100.0%

問2 あなた(代表者の方)の年齢を教えてください。

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
19歳以下	-	-	-	-
20歳代	-	-	1	1.2%
30歳代	6	5.4%	1	1.2%
40歳代	18	16.1%	2	2.4%
50歳代	37	33.0%	30	36.6%
60歳代	25	22.3%	30	36.6%
70歳以上	26	23.2%	18	22.0%
不明	-	-	-	-
サンプル数	112	100.0%	82	100.0%

問3 貴事業所(本社・市内の中心事業所)の用途地域を教えてください。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
工業地域	7	6.3%
準工業地域	27	24.1%
その他市街化区域	23	20.5%
市街化調整区域	21	18.8%
わからない	33	29.5%
無回答	1	0.9%
サンプル数	112	100.0%

問4 貴事業所(本社・市内の中心事業所)の立地場所を教えてください。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
国道171号沿道	16	14.3%	18	18.4%
国道170号沿道	13	11.6%	11	11.2%
府道大阪高槻線(高槻市役所～柱本方面)沿道	27	24.1%	20	20.4%
府道十三高槻線沿道	11	9.8%		選択肢なし
府道伏見高槻柳谷線沿道	1	0.9%		選択肢なし
その他の地域	42	37.5%	49	50.0%
無回答	2	1.8%	-	-
不明	-	-	-	-
サンプル数	112	100.0%	98	119.5%

問5 今の場所で事業をはじめたのはいつ頃からですか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
戦前(昭和19年以前)	6	5.4%	4	3.9%
昭和20～30年代	22	19.6%	22	21.6%
昭和40～50年代	40	35.7%	31	30.4%
昭和60年代～平成8年	20	17.9%	18	17.6%
平成9年～平成18年	15	13.4%	23	22.5%
平成19年～平成28年	9	8.0%	4	3.9%
平成29年以降	-	-	選択肢なし	
不明	選択肢なし		-	-
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

問6 貴事業所の従業者数(パート・アルバイトを含む)を教えてください。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
1～3人	21	18.8%	20	19.6%
4～9人	18	16.1%	23	22.5%
10～19人	18	16.1%	17	16.7%
20～49人	25	22.3%	21	20.6%
50～99人	10	8.9%	9	8.8%
100人以上	17	15.2%	11	10.8%
無回答	3	2.7%	選択肢なし	
不明	選択肢なし		1	1.0%
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

問7 貴事業所の売上に占める主要部門は次のうちどれですか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
食料品・飲料・タバコ・飼料	14	12.5%	8	7.8%
繊維・衣服その他	6	5.4%	4	3.9%
木材・木製品	-	-	2	2.0%
家具・装備品	-	-	-	-
パルプ・紙・紙加工	7	6.3%	3	2.9%
出版・印刷	5	4.5%	1	1.0%
化学	5	4.5%	6	5.9%
石油・石炭	-	-	-	-
プラスチック製品	12	10.7%	8	7.8%
ゴム、なめし革・同製品	1	0.9%	1	1.0%
窯業・土石製品	2	1.8%	7	6.9%
鉄鋼	4	3.6%	5	4.9%
非鉄金属	5	4.5%	6	5.9%
金属製品	8	7.1%	9	8.8%
一般機械器具	8	7.1%	9	8.8%
電気機械器具	8	7.1%	13	12.7%
輸送用機械器具	4	3.6%	1	1.0%
精密機械器具	5	4.5%	4	3.9%
その他の製造業	14	12.5%	9	8.8%
情報サービス、ソフト開発	1	0.9%	-	-
その他	3	2.7%	6	5.9%
不明	選択肢なし		-	-
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

参考資料 1 基礎調査資料

問 8 高槻市に立地する主な機能は何ですか。(MA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
本社・企画管理部門	68	60.7%	76	74.5%
生産	94	83.9%	82	80.4%
研究開発	33	29.5%	53	52.0%
営業・販売	62	55.4%	68	66.7%
流通	24	21.4%	37	36.3%
その他	7	6.3%	4	3.9%
無回答	1	0.9%	選択肢なし	
不明	選択肢なし		2	2.0%
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

問 9 貴事業所の経営形態を教えてください。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
株式会社	83	74.1%	76	74.5%
有限会社	15	13.4%	18	17.6%
合同会社	-	-	選択肢なし	
個人経営	14	12.5%	8	7.8%
その他	-	-	-	-
不明	選択肢なし		-	-
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

問 10 建物及び土地の所有はどのような形態になっていますか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
土地、建物とも所有	70	62.5%	51	50.0%
土地は借地、建物は所有	7	6.3%	11	10.8%
土地は所有、建物は借家	-	-	-	-
土地、建物とも借地、借家	35	31.3%	40	39.2%
不明	選択肢なし		-	-
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

問 11 貴事業所では社宅（借り上げを含む）を従業員に提供していますか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
社宅がすでにある（50戸以上）	3	2.7%
社宅がすでにある（50戸未満）	19	17.0%
現在検討している	1	0.9%
今後検討したい	4	3.6%
社宅はなく、今後も設置する予定はない	81	72.3%
社宅あり計	22	19.6%
無回答	4	3.6%
サンプル数	112	100.0%



問12 ①パート・アルバイトの従業員数の過不足状況を教えてください。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
過剰	-	-
やや過剰	4	3.6%
適正	57	50.9%
やや不足	11	9.8%
不足	10	8.9%
「過剰」合計	4	3.6%
「不足」合計	21	18.8%
無回答	30	26.8%
サンプル数	112	100.0%

問12 ②若手社員の従業員数の過不足状況を教えてください。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
過剰	-	-
やや過剰	2	1.8%
適正	25	22.3%
やや不足	30	26.8%
不足	22	19.6%
「過剰」合計	2	1.8%
「不足」合計	52	46.4%
無回答	33	29.5%
サンプル数	112	100.0%

問12 ③中堅社員の従業員数の過不足状況を教えてください。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
過剰	-	-
やや過剰	-	-
適正	44	39.3%
やや不足	23	20.5%
不足	12	10.7%
「過剰」合計	-	-
「不足」合計	35	31.3%
無回答	33	29.5%
サンプル数	112	100.0%

問12 ④ベテラン社員の従業員数の過不足状況を教えてください。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
過剰	-	-
やや過剰	12	-
適正	57	50.9%
やや不足	9	8.0%
不足	5	4.5%
「過剰」合計	12	-
「不足」合計	14	12.5%
無回答	29	25.9%
サンプル数	112	100.0%

参考資料 1 基礎調査資料

問 1 3 人材不足の原因は何だと思えますか。／問 1 2 「不足」 選択者 (MA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
募集しても応募がなかった	34	56.7%
求めていた人材を採用できなかった	30	50.0%
採用したものの定着しなかった	29	48.3%
募集のためのノウハウが不足していた	3	5.0%
募集のための人員が不足していた	6	10.0%
募集のための資金が不足していた	7	11.7%
その他	6	10.0%
無回答	3	5.0%
サンプル数	60	100.0%

問 1 4 人材不足に対して、どのような対応策を取っていますか。／問 1 2 「不足」 選択者 (MA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
人材育成に注力	25	41.7%
定年延長	22	36.7%
シニア雇用の比率を増やす	14	23.3%
外国人実習生等を採用する	11	18.3%
労働条件の見直し	26	43.3%
従業員の配置転換	16	26.7%
その他	5	8.3%
特になし	4	6.7%
無回答	2	3.3%
サンプル数	60	100.0%

問 1 5 外国人実習生等の活用について、どのようにお考えですか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
既に採用・当面、現状維持	8	7.1%
既に採用・一層積極化したい	4	3.6%
過去に採用した経験がある	4	3.6%
今後採用を考えたい	23	20.5%
今後とも採用する予定はない	69	61.6%
「現在採用している」合計	12	10.7%
無回答	4	3.6%
サンプル数	112	100.0%

問 1 6 今の事業をはじめた(継いだ)理由は何ですか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
親(先代)かその以前からやっているので、自然に継いだ	53	47.3%	35	34.3%
親や親類に勧められて	1	0.9%	1	1.0%
親会社(本社)の方針	16	14.3%	12	11.8%
事業分野として成長が期待できると思った	12	10.7%	29	28.4%
とりあえず高槻に戻る(とどまる)手段として	-	-	3	2.9%
M&Aのため	2	1.8%		選択肢なし
その事業分野を存続させたかった	6	5.4%		選択肢なし
その他	7	6.3%	8	7.8%
特に理由はない	10	8.9%	11	10.8%
無回答	5	4.5%		選択肢なし
不明		選択肢なし	3	2.9%
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

問 1 7 事業をはじめるにあたって、高槻市を場所として選んだ理由は何ですか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
受注先(発注者)が近くにある	23	20.5%	21	20.6%
外注先が近くにある	1	0.9%	3	2.9%
大学や研究機関が近い	-	-	1	1.0%
交通の便がよい	14	12.5%	26	25.5%
従業員やパートを確保しやすい	5	4.5%	3	2.9%
地価や賃料が安い、妥当	9	8.0%	14	13.7%
技術情報や技術支援が受けやすい	-	-	-	-
市場動向などのマーケット情報が得やすい	2	1.8%	-	-
同業種や事業内容の類似した企業が集積している	-	-	2	2.0%
その他	19	17.0%	27	26.5%
わからない	38	33.9%		選択肢なし
無回答	1	0.9%		選択肢なし
不明		選択肢なし	5	4.9%
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

問 1 8 最近5年程度の貴事業所の経営状況について、どのように感じておられますか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
とても順調	4	3.6%	2	2.0%
どちらかといえば順調	36	32.1%	24	23.5%
ほぼ横ばい	25	22.3%	21	20.6%
どちらかといえば厳しくなっている	27	24.1%	34	33.3%
非常に厳しくなっている	20	17.9%	20	19.6%
「順調」の合計	40	35.7%	26	25.5%
「厳しい」の合計	47	42.0%	54	52.9%
不明		選択肢なし	1	1.0%
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

参考資料 1 基礎調査資料

問 1 9 事業の後継ぎ(後継者)の方はいらっしゃいますか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
いる	53	47.3%	60	58.8%
いない	31	27.7%	20	19.6%
希望はあるが、継いでくれるかどうかわからない	15	13.4%	14	13.7%
支店・支社・工場のため、わからない	9	8.0%	選択肢なし	
支店・支社・工場のため、代表者等は派遣される	選択肢なし		6	5.9%
その他	3	2.7%	-	-
無回答	1	0.9%	選択肢なし	
不明	選択肢なし		2	2.0%
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

問 2 0 貴事業所が主要部門とする業界(事業分野)全体の将来性について、どのようにお考えですか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
今後、大きな成長を期待している	6	5.4%	12	11.8%
ある程度の成長が期待できる	31	27.7%	21	20.6%
それほど成長は期待できず、横ばい	42	37.5%	27	26.5%
ある程度、減退・縮小が予想される	25	22.3%	34	33.3%
大幅な減退・縮小が予想される	7	6.3%	6	5.9%
わからない	1	0.9%	1	1.0%
「成長に期待あり」の合計	37	33.0%	33	32.4%
「減退・縮小を予想」の合計	32	28.6%	40	39.2%
不明	選択肢なし		1	1.0%
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

問 2 1 ① 貴事業所が立地する環境について、最も大きな課題は何ですか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
交通条件の不便さ	15	13.4%	12	11.8%
敷地の狭さ、新たな土地確保の困難さ	30	26.8%	26	25.5%
固定資産税など税負担の問題	12	10.7%	13	12.7%
土地利用等における各種の規制	13	11.6%	10	9.8%
周辺住民への対応	22	19.6%	17	16.7%
情報基盤の整備が不十分	1	0.9%	4	3.9%
その他	11	9.8%	10	9.8%
無回答	8	7.1%	選択肢なし	
不明・持たない	選択肢なし		10	9.8%
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

問2 1 ② 経営・管理について、最も大きな課題は何ですか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
施設・設備の老朽化	28	25.0%	23	22.5%
新しい設備投資などの資金の不足	9	8.0%	14	13.7%
技術力の不十分さ、技術力向上機会の不足	7	6.3%	6	5.9%
新たな製品開発や商品化、マーケティング、企画力の弱さ	11	9.8%	12	11.8%
情報化への対応の遅れ	2	1.8%	1	1.0%
後継者の不在	10	8.9%	4	3.9%
海外や他社との競合・競争の激化	6	5.4%	25	24.5%
物流・在庫・人件費等のコストの増大	12	10.7%	9	8.8%
金融機関からの融資等の困難さ	2	1.8%	3	2.9%
雇用の確保	18	16.1%	選択肢なし	
その他	5	4.5%	3	2.9%
無回答	2	1.8%	選択肢なし	
不明・特になし	選択肢なし		2	2.0%
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

問2 2 今後新たな設備投資を考えていますか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
導入に向けて動いている	26	23.2%
導入を検討中である	34	30.4%
導入する予定はない	39	34.8%
わからない	12	10.7%
「動いている」と「検討中」の合計	60	53.6%
無回答	1	0.9%
サンプル数	112	100.0%

問2 3 主要工程やサービスに技術革新（IoTや自動化など）を取り入れていますか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	選択率
すでに導入している	7	7.0%
一部導入している	23	23.0%
導入に向けて動いている	8	8.0%
導入を検討中である	22	22.0%
導入する予定はない	36	36.0%
わからない	14	14.0%
「導入済み」の合計	30	30.0%
「導入予定」の合計	30	30.0%
無回答	2	2.0%
サンプル数	112	-

参考資料 1 基礎調査資料

問 2 4 ① 平成28年に新名神高速道路の一部（高槻市～神戸市間）が開通する以前に、  
どのようなことを期待していましたか。（MA）

項目	令和元年度	
	件	選択率
原材料や製品輸送のコスト削減	11	11.0%
原材料や製品輸送の定時性確保、または時間短縮	35	35.0%
製造出荷量の増大	3	3.0%
周辺地域の開発による都市の発展	19	19.0%
新たな工業用地の開発	13	13.0%
高槻の知名度向上	18	18.0%
特になし	47	47.0%
その他	3	3.0%
無回答	9	9.0%
サンプル数	158	-

問 2 4 ② 平成28年に新名神高速道路の一部（高槻市～神戸市間）が開通しましたが、  
開通後にどのような効果がありましたか。（MA）

項目	令和元年度	
	件	選択率
原材料や製品輸送のコスト削減	8	8.0%
原材料や製品輸送の定時性確保、または時間短縮	29	29.0%
製造出荷量の増大	4	4.0%
周辺地域の開発による都市の発展	10	10.0%
新たな工業用地の開発	7	7.0%
高槻の知名度向上	16	16.0%
特になし	60	60.0%
その他	4	4.0%
無回答	8	8.0%
サンプル数	146	-

問 2 4 ③ 令和 5 年に全線開通（八幡京田辺～高槻市間）する予定ですが、  
さらに期待することは何ですか。（MA）

項目	令和元年度	
	件	選択率
原材料や製品輸送のコスト削減	9	9.0%
原材料や製品輸送の定時性確保、または時間短縮	34	34.0%
製造出荷量の増大	5	5.0%
周辺地域の開発による都市の発展	29	29.0%
新たな工業用地の開発	16	16.0%
高槻の知名度向上	22	22.0%
特になし	48	48.0%
その他	2	2.0%
無回答	8	8.0%
サンプル数	173	-

問24①-2 一部開通以前に最も期待していたことは何ですか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
原材料や製品輸送のコスト削減	4	3.6%
原材料や製品輸送の定時性確保、または時間短縮	26	23.2%
製造出荷量の増大	1	0.9%
周辺地域の開発による都市の発展	11	9.8%
新たな工業用地の開発	8	7.1%
高槻の知名度向上	2	1.8%
特になし	35	31.3%
その他	3	2.7%
無回答	22	19.6%
サンプル数	112	100.0%

問24②-2 一部開通後に最も効果があったものは何ですか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
原材料や製品輸送のコスト削減	2	1.8%
原材料や製品輸送の定時性確保、または時間短縮	23	20.5%
製造出荷量の増大	1	0.9%
周辺地域の開発による都市の発展	3	2.7%
新たな工業用地の開発	2	1.8%
高槻の知名度向上	8	7.1%
特になし	46	41.1%
その他	4	3.6%
無回答	23	20.5%
サンプル数	112	100.0%

問24③-2 全線開通後に最も期待することは何ですか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
原材料や製品輸送のコスト削減	2	1.8%
原材料や製品輸送の定時性確保、または時間短縮	23	20.5%
製造出荷量の増大	1	0.9%
周辺地域の開発による都市の発展	3	2.7%
新たな工業用地の開発	2	1.8%
高槻の知名度向上	8	7.1%
特になし	46	41.1%
その他	4	3.6%
無回答	23	20.5%
サンプル数	112	100.0%

問25 大学との連携を考えていますか。(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
すでに連携している(していた)	18	16.1%
連携する予定だが、まだ連携していない	2	1.8%
連携を考えているがどうすればよいかわからない	10	8.9%
連携は考えていない	58	51.8%
わからない	21	18.8%
「予定・関心あり」合計	12	10.7%
無回答	3	2.7%
サンプル数	112	100.0%

参考資料 1 基礎調査資料

問 2 6 事業を行う上で、どのような人、機関などに相談したり、アドバイスを受けていますか。  
特に重要な相談やアドバイスを受けているとお考えの相手を選択してください。(MA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
民間の金融機関	33	17.6%	22	21.6%
法律や企業経営の専門家(弁護士、公認会計士、中小企業診断士等)	45	23.9%	40	39.2%
大学や大学の研究機関	7	3.7%	2	2.0%
国や大阪府、高槻市及びその出先など公的機関	12	6.4%	14	13.7%
公設の試験研究機関	7	3.7%	5	4.9%
高槻市ビジネスコーディネーター	9	4.8%	9	8.8%
商工会議所などの経済団体	6	3.2%	3	2.9%
産業支援のNPOやボランティアなどの市民団体	2	1.1%	1	1.0%
取引やネットワークのある企業	31	16.5%	31	30.4%
友人、知人、親類等	14	7.4%	18	17.6%
その他	5	2.7%	3	2.9%
特に相談したり、アドバイスを受けることはない	16	8.5%	19	18.6%
無回答	1	0.5%	選択肢なし	
不明	選択肢なし		1	1.0%
サンプル数	188	100.0%	102	100.0%

問 2 7 海外との取引(輸出・販売)がありますか。  
ある場合、売上に占める海外の割合(海外売上比率)はおよそどのくらいですか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
1割未満	21	18.8%	20	19.6%
1割以上5割未満	15	13.4%	13	12.7%
5割以上	1	0.9%	5	4.9%
海外との直接の取引はない	70	62.5%	55	53.9%
その他	1	0.9%	5	4.9%
「取引あり」の合計	37	33.0%	38	37.3%
無回答	4	3.6%	選択肢なし	
不明	選択肢なし		4	3.9%
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

問 2 8 BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)を策定していますか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
策定済み	21	18.8%	11	10.8%
策定予定	8	7.1%	2	2.0%
関心はあるが、まだ取り組んでいない	45	40.2%	50	49.0%
関心がない	34	30.4%	33	32.4%
その他	1	0.9%	3	2.9%
「予定・関心あり」の合計	53	47.3%	63	61.8%
無回答	3	2.7%	選択肢なし	
不明	選択肢なし		3	2.9%
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%



問29 次の産業・技術に関する支援機関を利用したことがありますか。(MA)

支援機関名	利用状況	利用したことがある	知っているが利用はない	知らない	無回答	合計
(ア) 独立行政法人中小企業基盤整備機構		14	37	53	8	112
(イ) JSTイノベーションプラザ大阪		0	15	89	8	112
(ウ) ポリテクセンター関西		18	25	63	6	112
(エ) 近畿職業能力開発大学校		5	38	62	7	112
(オ) 公益財団法人大阪産業局		10	50	44	8	112
(カ) 財団法人大阪商業振興センター		5	33	65	9	112
(キ) 大阪府立産業技術総合研究所		15	31	58	8	112
(ク) 大阪府産業デザインセンター		2	25	77	8	112
(ケ) 大阪府立特許情報センター		2	37	65	8	112
(コ) 京都府中小技術センター		2	23	79	8	112
(サ) 高槻商工会議所		57	48	4	3	112
(シ) 高槻市ビジネスコーディネーター		32	38	35	7	112

問30 現在の高槻市内の事業所・工場について、今後、どのようにしようとお考えですか。(SA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
後継ぎの代も含めて、今の場所で事業を続けたい	19	17.0%	21	20.6%
当面は今の場所で事業を続けたい	42	37.5%	36	35.3%
今の場所で続けたく、また良い場所があれば新規進出もしたい	12	10.7%	13	12.7%
よい場所があれば移りたい	10	8.9%	17	16.7%
近いうちに廃業したい(やめる予定)	3	2.7%	2	2.0%
将来的には廃業したい(やめる予定)	10	8.9%	3	2.9%
後継ぎ(後継者)に任せる	4	3.6%	4	3.9%
わからない、本社の意向次第	7	6.3%	-	-
その他	1	0.9%	1	1.0%
「今の場所で続けたい」の合計	73	65.2%	70	68.6%
無回答	4	3.6%	選択肢なし	
不明	選択肢なし		5	4.9%
サンプル数	112	100.0%	102	100.0%

問31 事業を続けていくうえで、どのような展開をしたいと考えていますか。  
 /問30で「続けたい」回答者(SA)

項目	令和元年度	
	件	構成比
既存分野における関連製品、新製品の開発	37	44.6%
新規分野への進出	10	12.0%
業種・業態の一部転換(再編成)	8	9.6%
業種・業態の大幅な転換(再編成)	1	1.2%
企業同士の連携や共同研究・共同事業の強化	5	6.0%
海外進出や海外への取引先の拡大	3	3.6%
マーケティングの強化	4	4.8%
物流の強化、再編成	2	2.4%
特に考えていない	8	9.6%
その他	2	2.4%
無回答	3	3.6%
サンプル数	83	100.0%

参考資料 1 基礎調査資料

問3 2 ①製造業活性化に向けた支援・施策のうち、満足しているものを選んでください。(MA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
市の産業振興の大きな方針づくり	15	9.2%	6	5.9%
行政や商工会議所の持つ各種制度の情報提供	21	12.9%	23	22.5%
市内の工業用地の斡旋(あっせん)や情報提供	2	1.2%	1	1.0%
社宅等の整備に関する支援	1	0.6%	選択肢なし	
工業団地の設備や工場アパートの設備・確保	選択肢なし		1	1.0%
道路・物流など産業基盤の整備	25	15.3%	13	12.7%
用途地域など各種規制の緩和・見直し	4	2.5%	1	1.0%
運転資金の融資	6	3.7%	6	5.9%
建て替えを含む設備投資資金の融資	1	0.6%	1	1.0%
企業同士の交流の場・機会づくり	17	10.4%	16	15.7%
大学や学生、研究機関との連携	1	0.6%	2	2.0%
展示会など製品や技術のPRの場・機会づくり	10	6.1%	7	6.9%
海外の産業・企業に関する情報提供	-	-	-	-
情報化を進めるための支援	-	-	-	-
住工混在問題への取組に対する支援	-	-	選択肢なし	
環境問題への取り組みに対する支援	選択肢なし		2	2.0%
技術者・後継者などの研修・人材育成の場や機会の提供	2	1.2%	4	3.9%
従業員の福利厚生の充実に対する支援	-	-	1	1.0%
ISO9001、ISO14001など各種認証取得の支援	選択肢なし		-	-
先端設備導入の支援	3	1.8%	-	-
企業立地に対する奨励金	4	2.5%	選択肢なし	
国・府などの委託業務や補助金申請に関するサポート	3	1.8%	3	2.9%
技術的なアドバイスを受けられる専門家の派遣・紹介	-	-	3	2.9%
無回答	48	29.4%	選択肢なし	
不明・特になし	選択肢なし		53	52.0%
サンプル数	163	100.0%	102	100.0%

問3 2 ②製造業活性化に向けた支援・施策のうち、不満なものを選んでください。(MA)

項目	令和元年度		平成23年度	
	件	構成比	件	構成比
市の産業振興の大きな方針づくり	5	2.9%	4	3.9%
行政や商工会議所の持つ各種制度の情報提供	2	1.2%	6	5.9%
市内の工業用地の斡旋(あっせん)や情報提供	11	6.4%	7	6.9%
社宅等の整備に関する支援	1	0.6%	選択肢なし	
工業団地の設備や工場アパートの設備・確保	選択肢なし		8	7.8%
道路・物流など産業基盤の整備	8	4.7%	8	7.8%
用途地域など各種規制の緩和・見直し	19	11.0%	10	9.8%
運転資金の融資	10	5.8%	7	6.9%
建て替えを含む設備投資資金の融資	9	5.2%	3	2.9%
企業同士の交流の場・機会づくり	2	1.2%	6	5.9%
大学や学生、研究機関との連携	3	1.7%	-	-
展示会など製品や技術のPRの場・機会づくり	6	3.5%	4	3.9%
海外の産業・企業に関する情報提供	1	0.6%	4	-
情報化を進めるための支援	7	4.1%	3	-
住工混在問題への取組に対する支援	7	4.1%	選択肢なし	
環境問題への取り組みに対する支援	選択肢なし		8	7.8%
技術者・後継者などの研修・人材育成の場や機会の提供	7	4.1%	12	11.8%
従業員の福利厚生の充実に対する支援	5	2.9%	6	5.9%
ISO9001、ISO14001など各種認証取得の支援	選択肢なし		1	1.0%
先端設備導入の支援	7	4.1%	6	5.9%
企業立地に対する奨励金	3	1.7%	選択肢なし	
国・府などの委託業務や補助金申請に関するサポート	5	2.9%	5	4.9%
技術的なアドバイスを受けられる専門家の派遣・紹介	6	-	3	2.9%
その他	3	-	2	-
無回答	45	26.2%	選択肢なし	
不明・特になし	選択肢なし		41	40.2%
サンプル数	172	100.0%	102	100.0%

(4) 市外住民意識調査

【実施概要】(再掲)

- ・調査対象：市外に居住する住民
- ・調査方法：WEB アンケートによる配信・回収
- ・調査期間：令和元年 12 月
- ・サンプル数：

スクリーニング調査 京阪神在住者 8,126 名 関東一都三県在住者 9,174 名  
本調査回収 京阪神在住者 450 名 関東一都三県在住者 100 名

回答者特性	標本数	性×年代(*)										居住地(*)									
		男性18~29才	男性30代	男性40代	男性50代	男性60代	女性18~29才	女性30代	女性40代	女性50代	女性60代	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	京都府	大阪府	兵庫県	その他		
京阪神在住者一般全体	(450)	9.3	9.1	11.4	8.8	10.3	9.4	9.5	11.8	9.2	11.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.6	52.8	32.7	0.0		
性別	男性(220)	19.0	18.6	23.3	18.0	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.5	51.7	32.8	0.0		
女性(230)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.3	18.5	23.0	18.1	22.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.7	53.7	32.6	0.0			
年代別	18~34才(117)	35.6	14.0	0.0	0.0	0.0	35.9	14.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.8	32.5	0.0		
35~49才(154)	0.0	15.9	33.2	0.0	0.0	0.0	16.6	34.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.3	56.2	31.5	0.0			
50~69才(178)	0.0	0.0	0.0	22.2	26.0	0.0	0.0	0.0	23.3	28.4	0.0	0.0	0.0	0.0	15.1	51.1	33.8	0.0			
性×年代別	【男性】18~34才(58)	71.8	28.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	54.1	34.9	0.0		
【男性】35~49才(76)	0.0	32.4	67.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	54.1	30.9	0.0			
【男性】50~69才(86)	0.0	0.0	0.0	46.1	53.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	48.2	33.0	0.0			
【女性】18~34才(59)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.2	28.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	47.6	30.2	0.0			
【女性】35~49才(79)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.5	67.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.6	58.3	32.1	0.0			
【女性】50~69才(92)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.1	54.9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.7	53.8	34.6	0.0				
高槻市観光来訪経験別	観光来訪あり(22)	12.8	12.5	10.5	12.1	9.5	8.6	8.7	10.8	4.2	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	17.3	67.8	14.8	0.0		
観光来訪未経験(428)	9.1	8.9	11.4	8.6	10.3	9.4	9.5	11.8	9.5	11.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.4	52.0	33.6	0.0			
夢中になっ ているもの 有無別	あり(176)	6.9	7.8	11.7	9.5	12.3	6.9	7.0	12.1	13.1	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0	13.4	52.7	34.0	0.0		
なし(176)	12.6	14.5	10.3	10.0	4.7	4.2	10.7	16.0	4.2	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	46.2	44.8	0.0			
わからない(44)																					
高槻市観光来訪者(京阪神在住)全体	(150)	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	64.0	19.3	0.0		
性別	男性(75)	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0		
女性(75)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	68.0	18.7	0.0			
年代別	18~34才(44)	34.1	18.2	0.0	0.0	34.1	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.7	59.1	18.2	0.0			
35~49才(46)	0.0	15.2	32.6	0.0	0.0	0.0	19.6	32.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.6	60.9	19.6	0.0			
50~69才(60)	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	70.0	20.0	0.0			
関東一都三県在住者全体	(100)	4.0	12.0	13.0	8.0	13.0	10.0	3.0	9.0	16.0	12.0	21.0	15.0	43.0	21.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
性別	男性(50)	8.0	24.0	26.0	16.0	26.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	18.0	48.0	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
女性(50)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	6.0	18.0	32.0	24.0	26.0	12.0	38.0	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
年代別	18~34才(23)	17.4	30.4	0.0	0.0	43.5	8.7	0.0	0.0	0.0	30.4	13.0	30.4	26.1	0.0	0.0	0.0	0.0			
35~49才(28)	0.0	17.9	46.4	0.0	0.0	0.0	3.6	32.1	0.0	0.0	14.3	17.9	46.4	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0			
50~69才(49)	0.0	0.0	0.0	16.3	26.5	0.0	0.0	0.0	32.7	24.5	20.4	14.3	46.9	18.4	0.0	0.0	0.0	0.0			

回答者特性	標本数	未既婚(*)		子ども有無(*)		世帯年収(*)													
		未婚	既婚	子供なし	子供あり	2万円未満	4~5万円未満	6~7万円未満	8~9万円未満	10~11万円未満	12~13万円未満	14~15万円未満	16~17万円未満	18~19万円未満	20~24万円未満	25万円以上	わからない	無回答	
京阪神在住者一般全体	(450)	40.7	59.3	49.9	50.1	8.5	17.0	21.3	12.2	7.0	2.9	2.0	1.8	0.9	14.3	12.1			
性別	男性(220)	45.8	54.2	54.0	46.0	8.4	16.0	22.3	14.5	8.6	2.8	3.2	1.8	1.3	12.6	8.4			
女性(230)	35.8	64.2	46.0	54.0	8.5	17.9	20.4	10.0	5.6	3.1	0.9	1.7	0.4	16.0	15.6				
年代別	18~34才(117)	68.3	31.7	73.0	27.0	9.5	11.9	16.6	9.5	6.3	2.4	1.6	3.2	0.8	20.7	17.5			
35~49才(154)	39.0	61.0	50.1	49.9	6.5	13.0	24.8	13.2	8.8	2.1	3.4	1.5	0.0	13.6	13.1				
50~69才(178)	24.0	76.0	34.5	65.5	9.5	23.8	21.5	13.1	6.0	4.0	1.1	1.0	1.6	10.7	7.6				
性×年代別	【男性】18~34才(58)	74.8	25.2	79.5	20.5	9.5	12.7	17.4	11.1	6.3	1.6	1.6	4.8	0.0	19.1	15.8			
【男性】35~49才(76)	43.5	56.5	53.2	46.8	5.7	8.4	25.8	15.0	12.6	1.2	6.9	1.5	0.0	14.1	8.7				
【男性】50~69才(86)	28.2	71.8	37.4	62.6	10.1	25.0	22.6	16.4	6.5	5.1	1.0	0.0	3.4	6.8	3.1				
【女性】18~34才(59)	61.9	38.1	66.7	33.3	9.5	11.1	15.8	8.0	6.3	3.2	1.6	1.6	1.6	22.2	19.0				
【女性】35~49才(79)	34.5	65.5	47.1	52.9	7.2	17.4	23.7	11.4	5.1	3.0	0.0	1.5	0.0	13.2	17.4				
【女性】50~69才(92)	20.1	79.9	31.8	68.2	8.9	22.7	20.4	10.1	5.4	3.0	1.2	2.0	0.0	14.3	11.9				
高槻市観光来訪経験別	観光来訪あり(22)	50.0	50.0	60.1	39.9	0.0	28.7	22.0	0.0	13.7	0.0	4.2	8.6	4.7	5.2	12.9			
観光来訪未経験(428)	40.2	59.8	49.4	50.6	8.9	16.4	21.3	12.8	6.7	3.1	1.9	1.4	0.7	14.8	12.0				
夢中になっ ているもの 有無別	あり(176)	41.5	58.5	50.3	49.7	7.9	16.6	20.8	13.6	9.5	3.8	3.0	2.1	1.7	11.6	9.4			
なし(176)	37.5	62.5	47.3	52.7	10.8	18.0	22.8	11.0	3.8	2.6	1.3	1.7	0.0	12.2	15.9				
わからない(44)	49.1	50.9	58.3	41.7	2.1	15.0	18.2	9.9	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	37.0	11.0				
高槻市観光来訪者(京阪神在住)全体	(150)	40.7	59.3	48.7	51.3	7.3	16.0	19.3	12.7	8.0	5.3	4.0	2.7	10.0	10.7				
性別	男性(75)	52.0	48.0	53.3	46.7	6.7	20.0	16.0	10.7	9.3	8.0	5.3	2.7	6.7	9.3				
女性(75)	29.3	70.7	44.0	56.0	8.0	12.0	22.7	14.7	6.7	2.7	2.7	2.7	2.7	13.3	12.0				
年代別	18~34才(44)	61.4	38.6	68.2	31.8	9.1	15.9	25.0	11.4	9.1	2.3	0.0	6.8	0.0	6.8	13.6			
35~49才(46)	37.0	63.0	47.8	52.2	0.0	15.2	23.9	13.0	10.9	4.3	4.3	0.0	4.3	10.9	13.0				
50~69才(60)	28.3	71.7	35.0	65.0	11.7	16.7	11.7	13.3	5.0	8.3	6.7	5.0	3.3	11.7	6.7				
関東一都三県在住者全体	(100)	45.0	55.0	52.0	48.0	8.0	17.0	12.0	10.0	15.0	7.0	5.0	1.0	2.0	18.0	5.0			
性別	男性(50)	42.0	58.0	50.0	50.0	6.0	18.0	14.0	14.0	18.0	12.0	8.0	2.0	2.0	6.0	0.0			
女性(50)	48.0	52.0	54.0	46.0	10.0	16.0	10.0	6.0	12.0	2.0	0.0	2.0	30.0	10.0					
年代別	18~34才(23)	73.9	26.1	87.0	13.0	4.3	13.0	4.3	17.4	8.7	17.4	0.0	0.0	0.0	30.4	4.3			
35~49才(28)	42.9	57.1	50.0	50.0	3.6	17.9	25.0	7.1	14.3	3.6	10.7	3.6	3.6	7.1	3.6				
50~69才(49)	32.7	67.3	36.7	63.3	12.2	18.4	8.2	8.2	18.4	4.1	4.1	0.0	2.0	18.4	6.1				

：全体より10ポイント以上   ：全体より5ポイント以上 (n=30以上)

(\*)パネル登録情報

回答者特性		標本数	職業(*)											
			公務員	経営者・役員	会社員(事務系)	会社員(技術系)	会社員(その他)	自営業	自由業	専業主婦(主夫)	パート・アルバイト	学生	その他	無職
京阪神在住者一般全体		(450)	3.1	1.1	16.8	7.1	11.5	6.5	1.6	20.8	13.7	4.8	4.4	8.7
性別	男性	(220)	5.1	2.2	20.1	13.5	17.2	10.1	2.2	0.5	6.1	6.7	5.2	11.2
	女性	(230)	1.2	0.0	13.8	0.9	6.0	3.1	0.9	40.2	20.9	2.9	3.7	6.3
年代別	18~34才	(117)	4.8	0.0	18.3	7.9	17.4	2.4	1.6	9.6	11.1	18.2	2.4	6.4
	35~49才	(154)	0.6	0.7	22.4	9.8	13.8	7.3	0.6	19.7	15.5	0.0	5.4	4.2
	50~69才	(178)	4.2	2.1	11.1	4.2	5.6	8.6	2.4	29.0	13.8	0.0	5.0	14.1
性×年代別	【男性】18~34才	(58)	4.8	0.0	14.3	14.2	22.1	3.2	1.6	0.0	7.9	25.5	0.0	6.4
	【男性】35~49才	(76)	1.2	1.5	28.8	18.3	22.5	10.5	1.2	0.0	4.8	0.0	8.4	2.7
	【男性】50~69才	(86)	8.7	4.3	16.2	8.7	9.2	14.4	3.6	1.2	6.0	0.0	5.8	21.9
	【女性】18~34才	(59)	4.7	0.0	22.3	1.6	12.7	1.6	1.6	19.0	14.3	11.1	4.8	6.4
	【女性】35~49才	(79)	0.0	0.0	16.2	1.5	5.4	4.2	0.0	38.7	25.8	0.0	2.4	5.7
	【女性】50~69才	(92)	0.0	0.0	6.2	0.0	2.2	3.2	1.2	55.0	21.0	0.0	4.2	6.9
高槻市観光来訪経験別	観光来訪あり	(22)	4.3	8.8	40.4	4.0	9.6	4.0	0.0	20.0	0.0	4.3	0.0	4.7
	観光来訪未経験	(428)	3.0	0.7	15.6	7.2	11.6	6.7	1.6	20.8	14.4	4.8	4.7	8.9
夢中になっているもの有無別	あり	(230)	3.6	0.9	19.4	6.4	10.7	7.8	2.2	20.1	11.8	5.7	3.0	8.4
	なし	(176)	2.3	1.5	12.6	5.8	12.1	5.9	1.1	23.8	15.3	3.2	6.4	10.2
	わからない	(44)	4.1	0.0	20.4	15.5	12.9	2.6	0.0	12.5	16.9	6.4	4.2	4.4
高槻市観光来訪者(京阪神在住)全体		(150)	4.7	3.3	20.7	10.0	8.7	10.0	1.3	18.7	8.7	5.3	4.7	4.0
性別	男性	(75)	6.7	4.0	22.7	16.0	10.7	14.7	2.7	0.0	5.3	6.7	5.3	5.3
	女性	(75)	2.7	2.7	18.7	4.0	6.7	5.3	0.0	37.3	12.0	4.0	4.0	2.7
年代別	18~34才	(44)	6.8	0.0	22.7	18.2	6.8	2.3	0.0	11.4	9.1	18.2	4.5	0.0
	35~49才	(46)	2.2	0.0	30.4	10.9	10.9	6.5	2.2	21.7	6.5	0.0	8.7	0.0
	50~69才	(60)	5.0	8.3	11.7	3.3	8.3	18.3	1.7	21.7	10.0	0.0	1.7	10.0
関東一都三県在住者全体		(100)	1.0	3.0	21.0	14.0	12.0	3.0	2.0	13.0	17.0	5.0	1.0	8.0
性別	男性	(50)	2.0	6.0	24.0	28.0	14.0	2.0	4.0	0.0	8.0	2.0	0.0	10.0
	女性	(50)	0.0	0.0	18.0	0.0	10.0	4.0	0.0	26.0	26.0	8.0	2.0	6.0
年代別	18~34才	(23)	0.0	0.0	26.1	8.7	17.4	0.0	0.0	0.0	13.0	21.7	0.0	13.0
	35~49才	(28)	3.6	7.1	21.4	21.4	7.1	0.0	3.6	10.7	21.4	0.0	3.6	0.0
	50~69才	(49)	0.0	2.0	18.4	12.2	12.2	6.1	2.0	20.4	16.3	0.0	0.0	10.2

全体より10ポイント以上

全体より5ポイント以上 (n=30以上)

(\*)パネル登録情報

※本アンケートでは、対象者を絞り込むためスクリーニング調査(事前調査)と本調査の2段階で質問を行っており、それぞれ設問を「SC」「Q」と分けて表記している。

また、集計表中「SA」は単一回答、「MA」は複数回答、「FA」は自由回答を指す。

## [1]高槻市認知来訪状況

### 1-1. 各地域認知来訪経験 (全体)

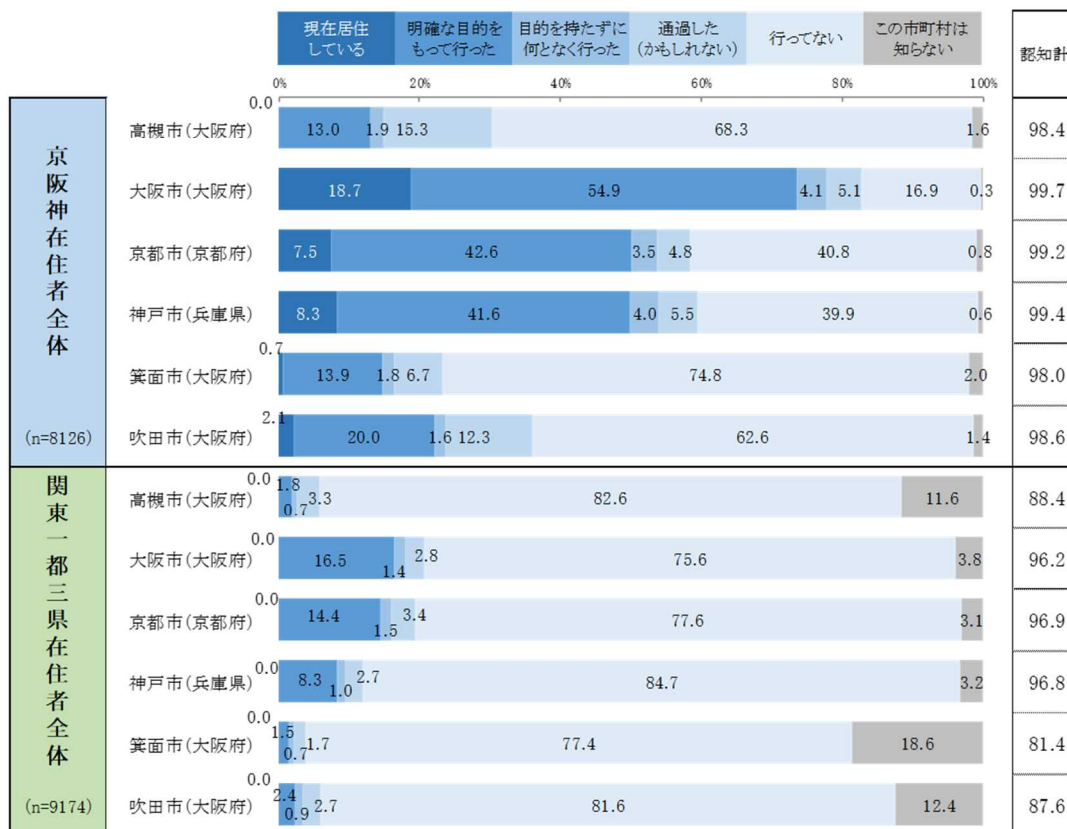
#### 【京阪神在住者】

- 98.4%が高槻市を認知しており、他5地域の認知と大差なし。
- 直近1年以内に<高槻市>へ「明確な目的をもって行った」とする来訪率は13.0%と、<箕面市>(13.9%)と同程度である。
- <大阪市>(54.9%)の来訪率が最も高く、次いで<京都市>(42.6%)、<神戸市>(41.6%)、<吹田市>(20.0%)が続く。<高槻市>の来訪率は6地域の中で最も低い。
- 一方、「行ってない」は<箕面市>(74.8%)、<高槻市>(68.3%)、<吹田市>(62.6%)の順に高く、「通過した(かもしれない)」は<高槻市>(15.3%)、<吹田市>(12.3%)が高い。

#### 【関東一都三県在住者】

- 高槻市の認知率は88.4%で、吹田市と同等。
- 6地域とも、直近1年以内に「行ってない」が7割台~8割台を占める。
- 6地域の来訪率は<大阪市>(16.5%)、<京都市>(14.4%)、<神戸市>(8.3%)の順に1割台以下である。<高槻市>の来訪率は1.8%にとどまり、<箕面市><吹田市>も2%前後と低い。
- 「この市町村は知らない」は<箕面市>(18.6%)が最も高く、<吹田市>(12.4%)、<高槻市>(11.6%)が続く。

SC4. あなたは以下に示す市区町村に、直近1年以内に来訪されましたか。  
それぞれご自身にもっともあてはまるもの一つずつお選びください。(各SA)



※ 回収数ベース

## 1-2. 各地域来訪目的 (全体)

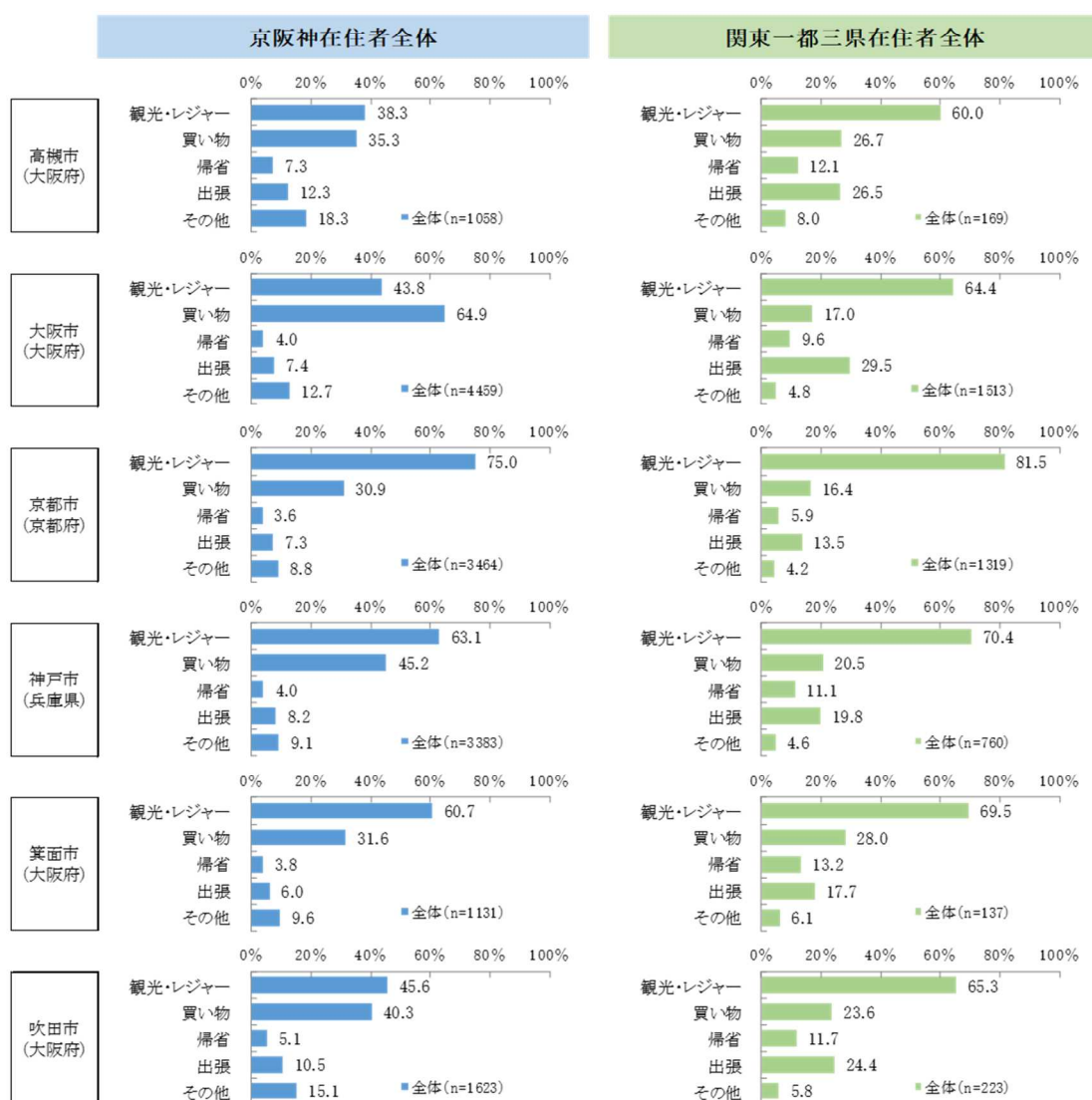
### 【京阪神在住者】

- ▶ 来訪目的をみると、<高槻市><吹田市>は「観光・レジャー」「買い物」が比較的高い。
- ▶ <大阪市>は「買い物」、<京都市><神戸市><箕面市>は「観光・レジャー」が中心。とくに<京都市>は「観光・レジャー」が突出している。

### 【関東一都三県在住者】

- ▶ 6地域とも「観光・レジャー」目的が最も高い。京阪神在住者と比べると出張が多く、「買い物」が少ない。
- ▶ <高槻市>は6地域の中で「観光・レジャー」目的が最も低い。

SC5. あなたが前問で直近1年以内に「明確な目的をもって行った」とお答えになった市区町村についてお伺いします。  
あなたが行った際の目的は以下のうちどれですか。あてはまるものをすべてお答えください。(各MA)



※ 各地域目的あり来訪者ベース

## [2] 趣味嗜好

### 2-1. 夢中になっているものの有無

#### 【京阪神在住者】

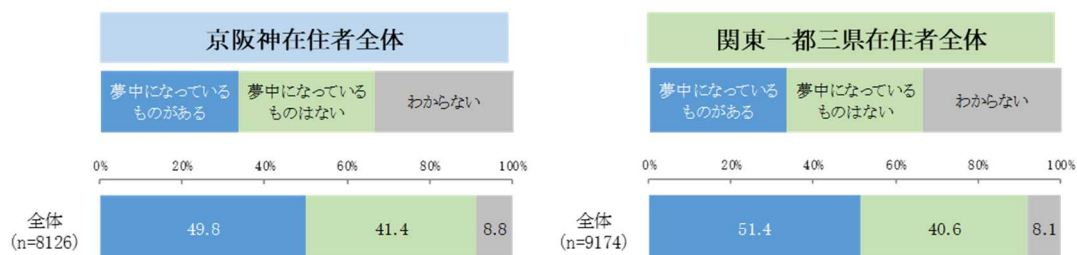
▶ 「夢中になっているものがある」と答えた人が全体の約5割、「夢中になっているものはない」は約4割、「分からない」が1割弱である。

- ・性別にみると、男性は「夢中になっているものがある」が5割強と女性よりやや高い。
- ・年代別にみると、若い年代ほど「夢中になっているものがある」割合が高くなる。
- ・高槻市観光来訪経験別にみると、観光来訪あり層は「夢中になっているものがある」が約7割に対し、観光来訪なし層は約5割と少ない。

#### 【関東一都三県在住者】

- ▶ 全体傾向、性別、年代別傾向は【京阪神在住者】とほとんど差がない。
- ・高槻市観光来訪経験別にみると、観光来訪あり層は「夢中になっているものがある」が9割以上を占めており【京阪神在住者】より高くなっている。

SC1. あなたは今、夢中になっているものがありますか。あてはまるものを一つお選びください。(SA)



		標本数	夢中になっているものがある	夢中になっているものはない	わからない
京阪神在住者全体		(8126)	49.8	41.4	8.8
性別	男性	(3972)	52.6	38.9	8.5
	女性	(4154)	47.2	43.8	9.0
年代別	18～29才	(1514)	61.5	27.9	10.6
	30～39才	(1510)	54.3	35.8	9.9
	40～49才	(1882)	47.4	44.5	8.1
	50～59才	(1468)	46.6	45.5	7.9
	60～69才	(1752)	41.0	51.3	7.6
性×年代別	【男性】18～29才	(754)	61.3	27.1	11.5
	【男性】30～39才	(740)	57.6	32.8	9.7
	【男性】40～49才	(925)	52.6	40.7	6.7
	【男性】50～59才	(716)	47.7	44.6	7.7
	【男性】60～69才	(837)	44.5	48.1	7.4
	【女性】18～29才	(761)	61.7	28.6	9.6
	【女性】30～39才	(770)	51.2	38.7	10.1
	【女性】40～49才	(957)	42.4	48.2	9.4
	【女性】50～59才	(752)	45.6	46.3	8.1
	【女性】60～69才	(915)	37.9	54.3	7.9
高槻市観光来訪経験別	観光来訪あり	(405)	70.9	24.9	4.2
	観光来訪未経験	(7593)	48.7	42.5	8.8

		標本数	夢中になっているものがある	夢中になっているものはない	わからない
関東一都三県在住者全体		(9174)	51.4	40.6	8.1
性別	男性	(4668)	53.5	38.6	7.9
	女性	(4506)	49.2	42.6	8.3
年代別	18～29才	(1601)	61.3	28.1	10.5
	30～39才	(1886)	54.5	37.0	8.4
	40～49才	(2226)	49.3	42.7	8.1
	50～59才	(1665)	48.5	44.0	7.6
	60～69才	(1796)	44.4	49.6	6.0
性×年代別	【男性】18～29才	(822)	62.0	26.6	11.4
	【男性】30～39才	(967)	56.5	36.0	7.5
	【男性】40～49才	(1144)	52.3	39.3	8.4
	【男性】50～59才	(854)	49.3	43.0	7.7
	【男性】60～69才	(881)	47.7	47.7	4.6
	【女性】18～29才	(778)	60.6	29.8	9.6
	【女性】30～39才	(920)	52.5	38.1	9.4
	【女性】40～49才	(1083)	46.0	46.2	7.7
	【女性】50～59才	(810)	47.6	45.0	7.4
	【女性】60～69才	(915)	41.2	51.4	7.3
高槻市観光来訪経験別	観光来訪あり	(101)	94.3	5.7	0.0
	観光来訪未経験	(8011)	53.1	39.8	7.1

: 全体より10ポイント以上
  : 全体より5ポイント以上
  : 全体より10ポイント以下
  : 全体より5ポイント以下 (n=30以上)

※ 回収数ベース

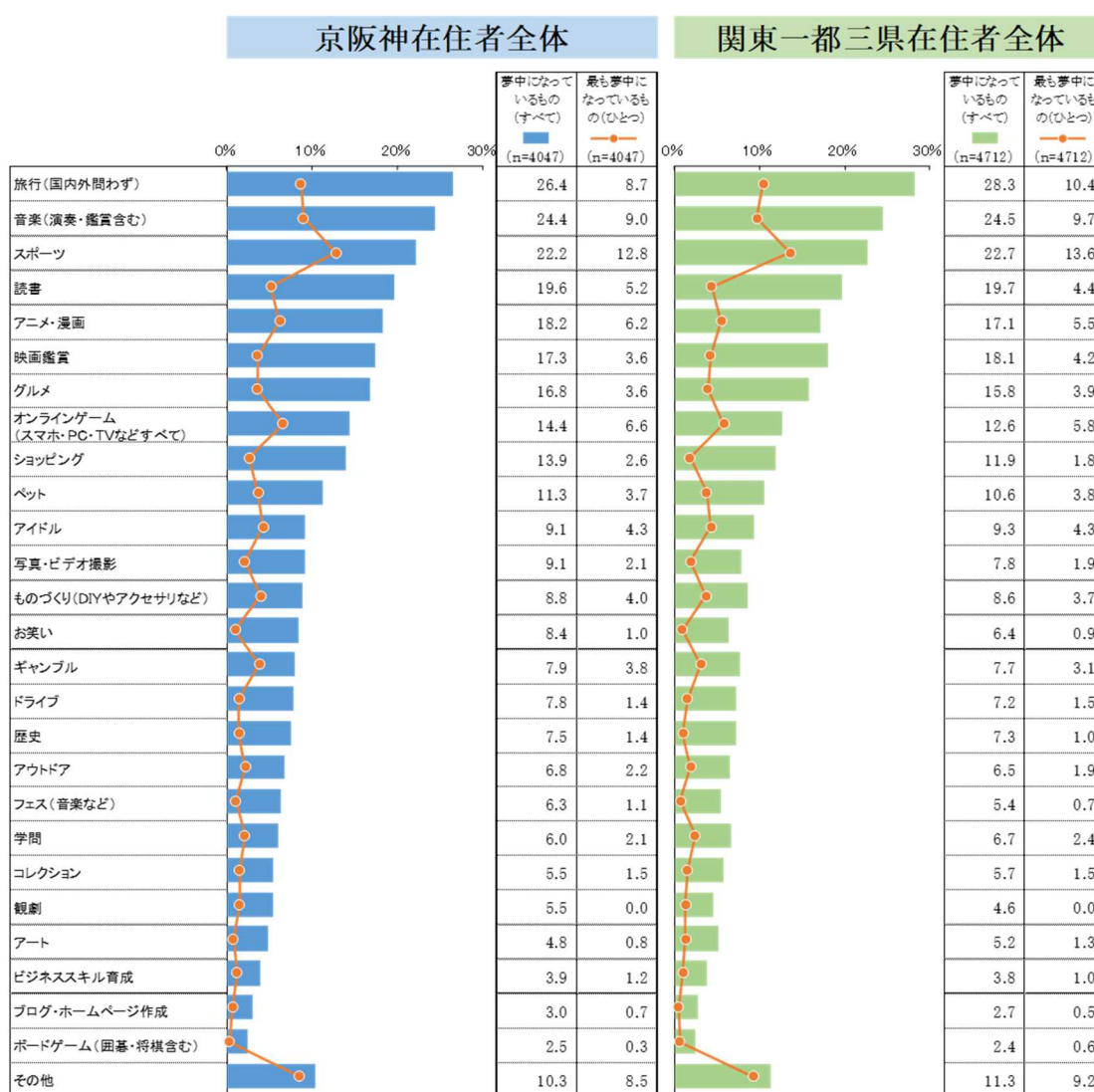


## 2-2. 夢中になっているもの(全体)

- ▶ 夢中になっているもののジャンルは、「旅行」「音楽」「スポーツ」「読書」「アニメ・漫画」「映画鑑賞」「グルメ」が上位7位。
- ▶ 最も夢中になっているものでは、「スポーツ」が1位、「オンラインゲーム」が4位のランキングである。
- ▶ 【京阪神在住者】と【関東一都三県在住者】で差はない。

SC2. あなたが夢中になっているものは以下のうちでどんなジャンルのものですか。

近いものでかまいませんので、あてはまるものをすべて、もっとも夢中になっているものを一つだけお選びください。(MA/SA)



※夢中になっているものがある人ベース

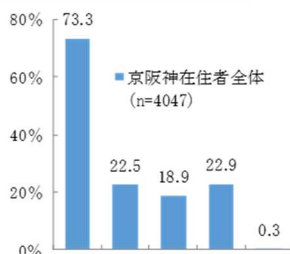


### 2-3. 夢中になっているものの楽しみ方

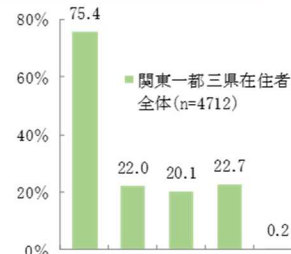
- 夢中になっている趣味の楽しみ方は、「一人で」が7割以上を占める。
- 「ももとの友人・知人と」「趣味でつながった友人・知人と」「家族と」はそれぞれ2割程度である。
  - ・性別にみると、女性は「家族と」が高い。
  - ・性×年代別にみると、男性18-29才/30代は「一人で」が8割以上を占め、他層に比べて高い。男女18-29才は「ももとの友人・知人と」が高く、女性60代は「趣味でつながった友人・知人と」が高くなっている。
  - ・高槻市観光来訪経験別にみると、観光来訪あり層は「ももとの友人・知人と」「趣味でつながった友人・知人と」楽しむケースが全体スコアより高い。
- 【京阪神在住者】と【関東一都三県在住者】で全体傾向、階層別傾向に差はない。

SC3. あなたが夢中になっている趣味について、どのように楽しんでいますか。あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

京阪神在住者



関東一都三県在住者



		標本数	一人で	ももとの友人・知人と	趣味でつながった友人・知人と	家族と	その他			標本数	一人で	ももとの友人・知人と	趣味でつながった友人・知人と	家族と	その他
京阪神在住者全体		(4047)	73.3	22.5	18.9	22.9	0.3	関東一都三県在住者全体		(4712)	75.4	22.0	20.1	22.7	0.2
性別	男性	(2089)	76.0	24.0	20.1	17.5	0.2	性別	男性	(2497)	79.2	23.7	21.3	17.3	0.2
	女性	(1959)	70.4	20.9	17.6	28.7	0.3		女性	(2215)	71.2	20.0	18.8	28.9	0.2
年代別	18~29才	(932)	79.0	31.8	18.3	19.3	0.0	年代別	18~29才	(982)	81.3	29.2	19.5	17.1	0.2
	30~39才	(820)	78.8	20.0	17.0	23.2	0.1		30~39才	(1029)	80.3	22.6	18.5	23.5	0.0
	40~49才	(892)	73.1	21.4	16.5	23.5	0.2		40~49才	(1097)	75.3	19.2	19.6	25.1	0.2
	50~59才	(684)	69.1	19.6	19.5	27.0	0.3		50~59才	(807)	71.9	19.7	20.7	23.6	0.2
	60~69才	(719)	63.7	17.6	24.2	22.8	0.8		60~69才	(797)	65.7	18.5	22.7	24.5	0.6
性×年代別	【男性】18~29才	(462)	83.0	33.9	19.4	13.9	0.0	性×年代別	【男性】18~29才	(510)	86.9	29.5	21.6	10.7	0.3
	【男性】30~39才	(426)	81.8	23.6	20.7	16.5	0.0		【男性】30~39才	(546)	82.2	25.2	21.7	18.1	0.0
	【男性】40~49才	(487)	76.8	22.0	17.0	17.8	0.2		【男性】40~49才	(599)	77.8	22.4	21.4	19.0	0.2
	【男性】50~59才	(341)	67.2	21.9	22.5	21.7	0.4		【男性】50~59才	(422)	76.0	21.3	21.3	18.3	0.2
	【男性】60~69才	(372)	67.5	16.6	22.1	19.0	0.5		【男性】60~69才	(420)	71.3	19.0	20.1	20.7	0.6
	【女性】18~29才	(470)	75.1	29.7	17.1	24.5	0.0		【女性】18~29才	(472)	75.4	28.9	17.3	24.1	0.2
	【女性】30~39才	(394)	75.6	16.0	12.9	30.4	0.2		【女性】30~39才	(483)	78.1	19.5	15.0	29.6	0.0
	【女性】40~49才	(406)	68.8	20.7	15.9	30.2	0.3		【女性】40~49才	(498)	72.3	15.4	17.4	32.4	0.2
	【女性】50~59才	(343)	71.1	17.2	16.6	32.4	0.2		【女性】50~59才	(386)	67.3	18.0	20.1	29.4	0.2
	【女性】60~69才	(347)	59.6	18.5	26.5	26.9	1.1		【女性】60~69才	(377)	59.5	17.8	25.7	28.6	0.5
高槻市観光来訪経験別	観光来訪あり	(287)	68.1	37.7	32.7	31.9	0.0	高槻市観光来訪経験別	観光来訪あり	(96)	81.7	49.3	47.8	28.2	0.0
	観光来訪未経験	(3701)	73.6	21.4	17.9	22.5	0.3		観光来訪未経験	(4254)	75.1	21.9	19.9	22.9	0.3

■ : 全体より10ポイント以上   ■ : 全体より5ポイント以上   ■ : 全体より10ポイント以下   ■ : 全体より5ポイント以下 (n=30以上)

※夢中になっているものがある人ベース

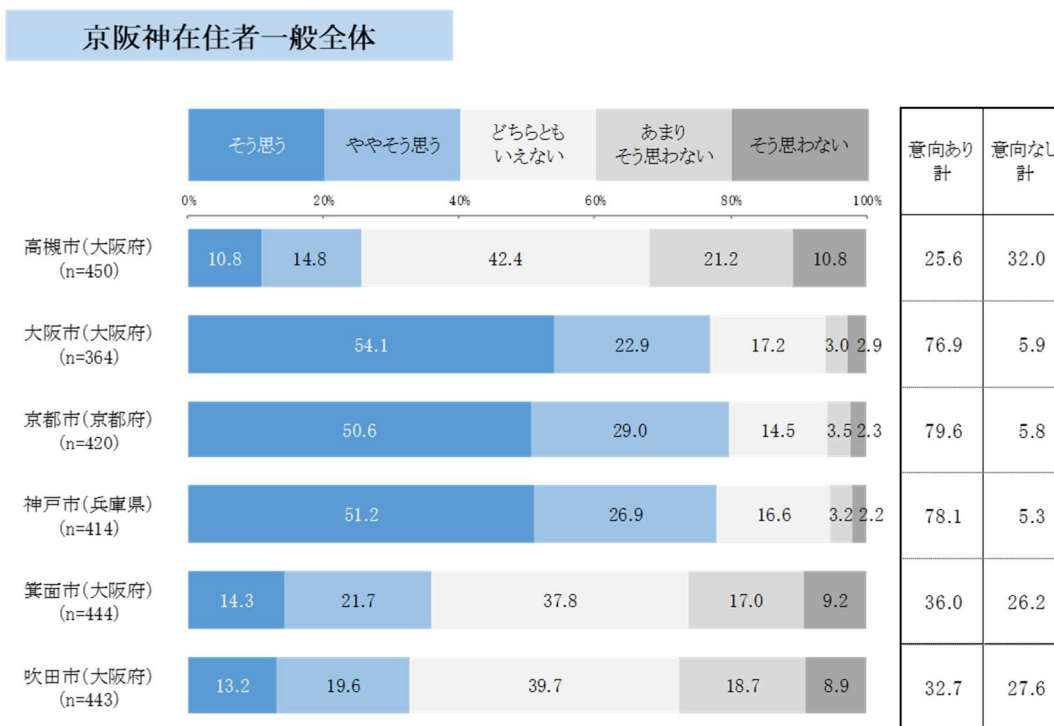
### [3]高槻市イメージ及び評価

#### 3-1. 各地域今後訪問意向（京阪神一般各地域比較）

【京阪神在住者一般】

- <高槻市>の今後訪問意向(意向あり計)は25.6%。6地域の中で最もスコアが低く、「意向なし計」(32.0%)が「意向あり計」を上回っている。
- 他の地域をみると<京都市>(79.6%)、<神戸市>(78.1%)、<大阪市>(76.9%)については今後訪問意向が7割台を占め、<箕面市>(36.0%)、<吹田市>(32.7%)は3割台である。
- 今後訪問意向のTOP1(そう思う)でみると<大阪市>(54.1%)が最も高い。

Q1. あなたは、以下の市に、今後(も)訪れてみたいと思いますか。あてはまるものを一つお選びください。(各SA)



※各地域認知者ベース（居住者除く）

### 3-2. 高槻市イメージ(純粹想起)

【京阪神在住者一般】

➢ 「住宅街/ベッドタウン」「阪急とJRがある」など鉄道関連イメージ「京都に近い」「村上信五」などが上位。

【高槻市観光来訪者】

➢ 京阪神一般と同様、「京都に近い」「住宅街/ベッドタウン」が上位にあり、その他にも「高級/上品/街がきれい」「豊かな自然」「歴史のある街」といったイメージも頻出。また、「ジャズフェスティバル」「うどん餃子」「摂津峡」など具体的な観光地やイベントなどの固有名詞も多く挙がっている。

【関東在住者一般】

➢ 8割が「思い浮かばない」と回答。最も想起が多かったのは「村上信五」。

Q2. あなたは、大阪府にある「高槻市」についてどんなことを思い浮かべますか。具体的な観光地や、まちのイメージなど、どんなことでも構いませんので、あなたが感じていることをご自由に書き出してください。(PA)

<京阪神在住者一般全体>

思い浮かばない	220 件
住宅街/ベッドタウン	29 件
阪急とJRがある/特急・新快速が停まる/交通の便が良い	25 件
大阪と京都のあいだにある/京都に近い	20 件
村上信五/タカツキング	17 件
大阪府下では、大きな衛星都市/大阪府北部/大阪の中核/摂津	13 件
中途半端/通過する街	13 件
歴史のある街/安満遺跡公園/はにわ/高山右近	12 件
便利な街/住みやすい	10 件
摂津峡	9 件
学校(関西大学など)	9 件
郊外/遠い/田舎	9 件
大阪北部地震	9 件
病院/大学の付属病院	8 件
にぎやかな街/駅前に百貨店がある	7 件
自然豊か/山間のある所	6 件

※5件以上抜粋

<高槻市観光来訪者(京阪神在住)全体>

思い浮かばない	21 件
大阪と京都のあいだにある/京都に近い	13 件
静かで高級/上品/住みやすい/街がきれい	13 件
住宅街/ベッドタウン	12 件
豊かな自然/蛍/川遊び	12 件
歴史のある街/古墳/城下町/はにわ/高山右近	12 件
(駅前が)栄えている/大きな駅	11 件
交通の便が良い	9 件
ジャズフェスティバル/音楽祭が盛ん	7 件
うどん餃子/高槻餃子	5 件
高槻ジャズストリート	5 件
摂津峡	4 件
村上信五/タカツキング	4 件

※4件以上抜粋

<関東一都三県在住者全体>

思い浮かばない	81 件
村上信五/タカツキング	6 件
住宅街/ベッドタウン	2 件
サッカー	2 件

※2件以上抜粋

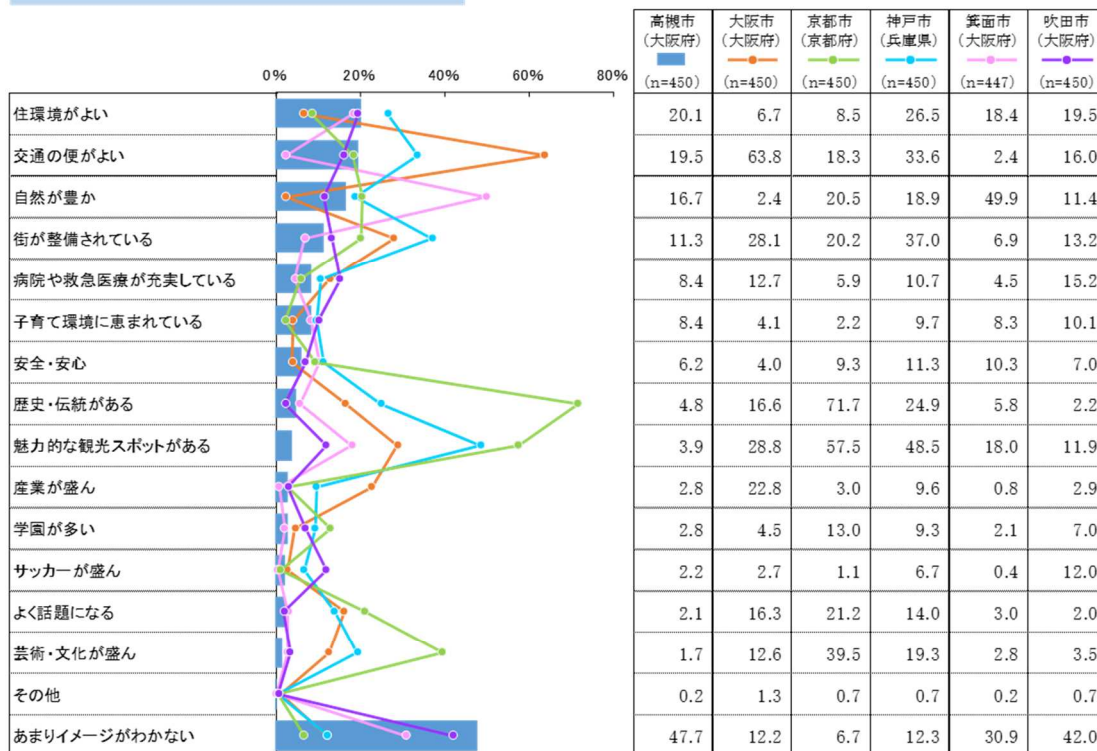
### 3-3. 各地域イメージ（京阪神一般各地域比較）

【京阪神在住者一般】

- ▶ <高槻市>のイメージは、「住環境がよい」「交通の便がよい」「自然が豊か」が上位。ただし、「あまりイメージがわからない」と回答した人が半数近くを占め、他の5地域と比較して突出した特徴的なイメージはみられない。
- ▶ <箕面市><吹田市>と比べると、<高槻市>は「住環境がよい」「交通の便がよい」がやや高い。
- ▶ 他の地域の特徴的なイメージは以下の通り。
  - <大阪市>・・・「交通の便がよい」「産業が盛ん」
  - <京都市>・・・「歴史・伝統がある」「魅力的な観光スポットがある」「芸術・文化が盛ん」
  - <神戸市>・・・「住環境がよい」「街が整備されている」
  - <箕面市>・・・「自然が豊か」
  - <吹田市>・・・「サッカーが盛ん」

Q3. あなたがご存じの市区町村について、それぞれ以下のうちどんなイメージを持たれていますか。あてはまるものをそれぞれすべてお選びください。（各MA）

#### 京阪神在住者一般全体



※各地域認知者ベース

## [4] 高槻市観光スポット／イベント浸透状況および評価

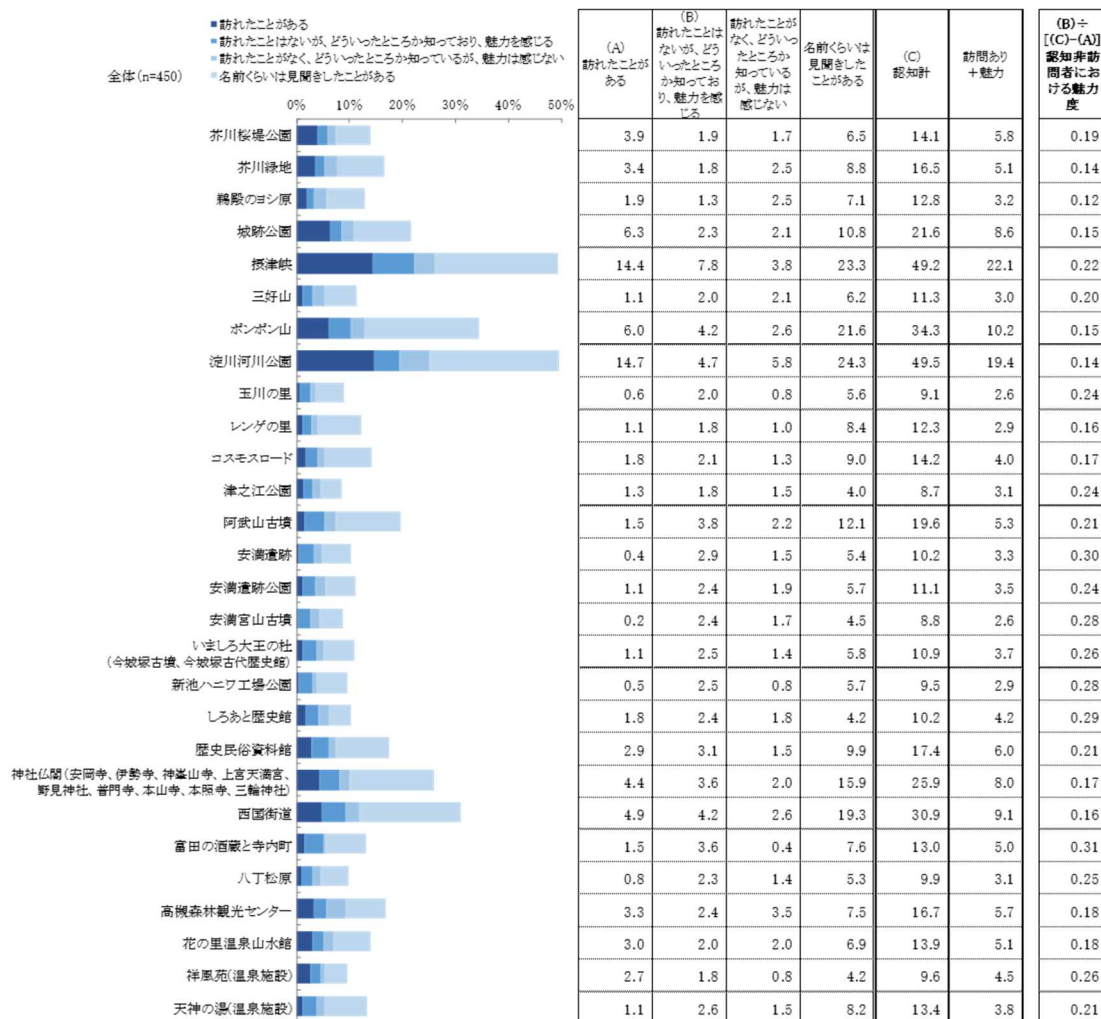
### 4-1. 高槻市観光スポット浸透・評価（京阪神一般各観光スポット比較）

【京阪神在住者一般】

- <高槻市>観光スポットの認知率は、「淀川河川公園」「摂津峡」「ポンポン山」「西国街道」「神社仏閣」「城跡公園」「阿武山古墳」が上位7位。
- 訪れたことがあり、魅力を感じた（訪問あり+魅力）は、「摂津峡」「淀川河川公園」「ポンポン山」「西国街道」「城跡公園」が上位5位で、概ね認知率と一致している。
- 認知非訪問者における魅力度は、「富田の酒蔵と寺内町」「安満遺跡」「しろあと歴史館」「安満宮山古墳」「新池ハニワ工場公園」が上位5位で、これらはポテンシャルのある観光スポットであると推測できる。

Q4. あなたは以下に挙げる大阪府の「高槻市」にある“観光スポット”について、どの程度ご存じですか。それぞれあてはまるものをすべてお選びください。（各MA）

#### 京阪神在住者一般全体



※ 回収数ベース



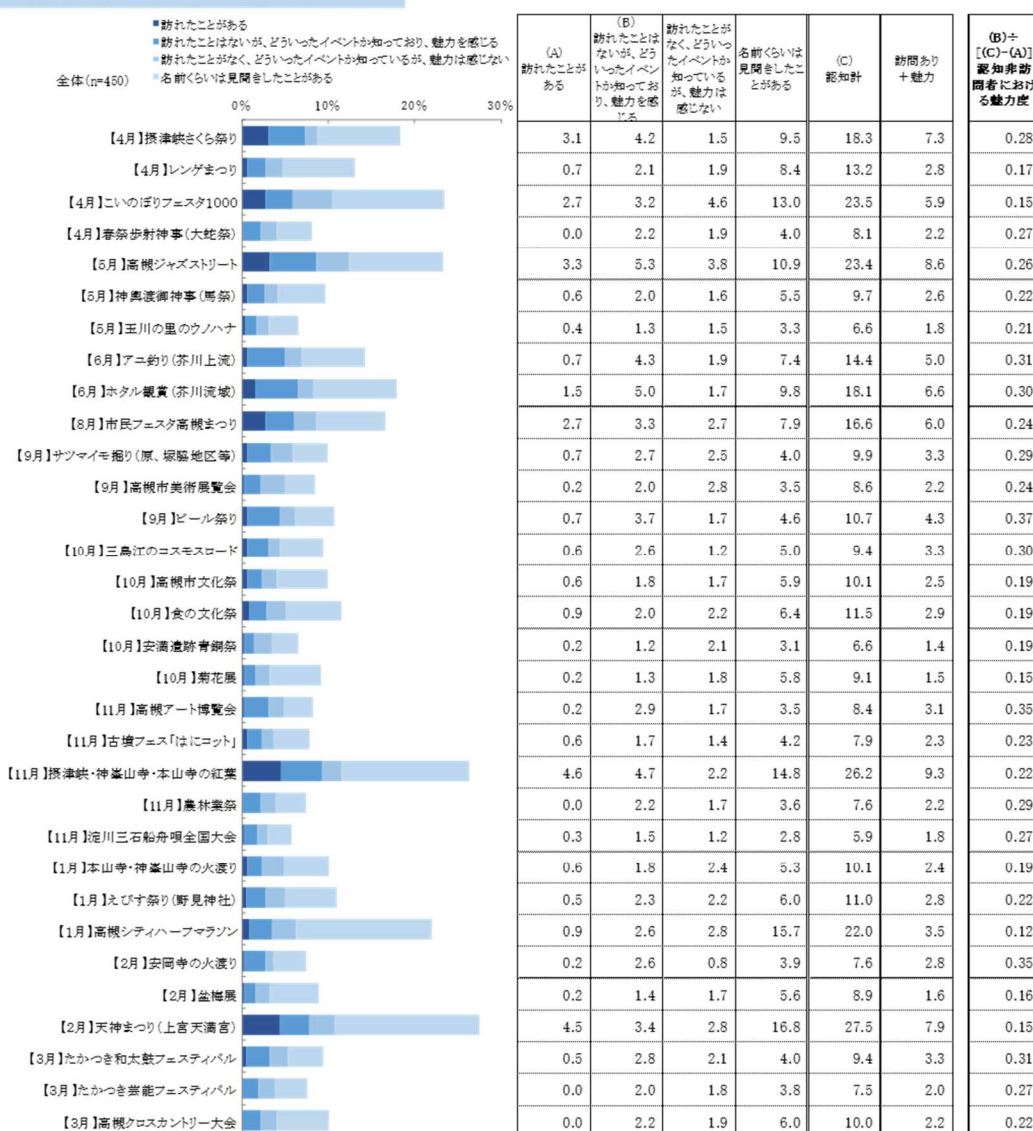
### 4-2. 高槻市イベント浸透・評価（京阪神一般各イベント比較）

【京阪神在住者一般】

- ▶ <高槻市> イベントの認知率は、「【2月】天神まつり(上宮天満宮)」「【11月】摂津峡・神峯山寺・本山寺の紅葉」「【4月】このぼりフェスタ1000」「【5月】高槻ジャズストリート」「【1月】高槻シティハーフマラソン」が上位5位で、いずれも2割台の認知率。
- ▶ 訪れたことがあり、魅力を感じた(訪問あり+魅力)イベントは、「【11月】摂津峡・神峯山寺・本山寺の紅葉」「【5月】高槻ジャズストリート」「【2月】天神まつり(上宮天満宮)」「【4月】摂津峡さくら祭り」「【6月】ホテル観賞(芥川流域)」が上位5位。
- ▶ 認知非訪問者における魅力度は、「【9月】ビール祭り」「【11月】高槻アート博覧会」「【2月】安岡寺の火渡り」「【6月】アユ釣り(芥川上流)」「【3月】たかつき和太鼓フェスティバル」などが上位で、これらはポテンシャルのあるイベントであると推測できる。

Q5. あなたは以下に挙げる大阪府の「高槻市」の「イベント」について、どの程度ご存じですか。それぞれあてはまるものをお選びください。(各SA)

#### 京阪神在住者一般全体



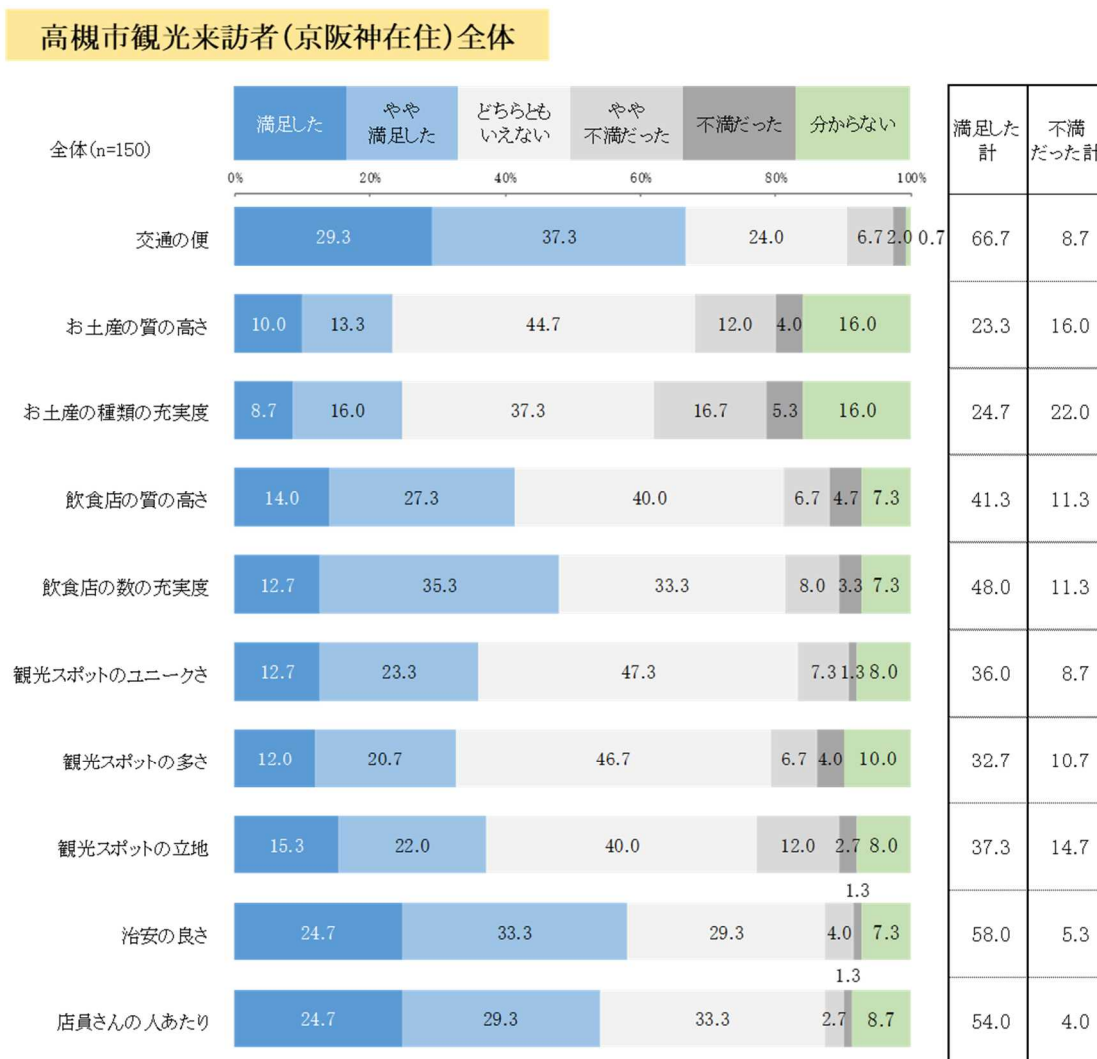
※ 回収数ベース

### 4-3. 高槻市来訪満足度（全体）

【高槻市観光来訪者】

- ▶ 来訪満足度(満足した計)は、「交通の便」「治安の良さ」「店員さんの人あたり」「飲食店の数の充実度」「飲食店の質の高さ」の順に高い。「交通の便」はTOP1(満足した)でも最も高い。
- ▶ 一方、「お土産の種類充実度」「お土産の質の高さ」といったお土産に関する満足度が低く、不満度(不満だった計)も最も高い。

Q6. 観光・レジャー目的で高槻市を訪れたことのある方にお伺いします。あなたが観光・レジャー目的で訪れた際に、以下の点について満足されましたか。それぞれあてはまるものをひとつずつお選びください。(各SA)



※ 高槻市観光来訪者(京阪神在住)のみ

## 2. 試行的観光プロモーション

### (1) プロモーション概要

#### ①目的

本ビジョンの策定と並行して、本市や他自治体が実施したことがないような観光プロモーションを試行的に実施し、その効果検証を行い、今後の方向性として「産業・観光振興ビジョン」に反映することを目的とする。プロモーションの実施に当たっては、スモールマス社会に対応したマイクロマーケティングを活用し、消費者一人一人の好みや需要を掘り下げることを目指し、対象者に合わせた取組と情報発信を行うものとする。



#### ②取組名称について

取組の名称は「BOTTO たかつき」とし、ロゴは「高槻市に行けば、好きなことに没頭できる」をビジュアル化したものである。市外在住者に「高槻市に行けば、好きなことに没頭できる」というイメージを作り上げることを意図したデザインとなっている。緑を基調に、堅い印象を避け、親しみやすいトーンで制作した。メインロゴ以外でも転用しやすく、ランディングページ（特設ホームページ）内では「BOTTO 将棋」「BOTTO 古墳」などを展開している。

### (2) 第一弾企画

#### ①目的

BOTTO たかつきの第一弾企画として、「市長自らが、高槻でBOTTOする魅力をPRする」というテーマで高槻市にゆかりあるキャストとともに、将棋の魅力を発信する。

また、併せて、スモールマスに対してアプローチすることが高槻市のプロモーション手法として親和性があるかどうかの妥当性も図る。



## ②企画名

【市長 vs 町長】BOTTOたかつき中将棋対決～高槻市島本町観光連携1周年記念～

## ③実施概要

- ・高槻市と島本町の観光に関する連携協定締結1周年を記念して、中将棋の対局を水無瀬神宮で実施
- ・その様子をライブ動画配信サービス「ニコニコ生放送」でインターネット配信

## ④出演者

- ・対局者…濱田剛史高槻市長、山田紘平町長
- ・指南役…室田伊緒女流二段、里見咲紀女流初段
- ・解説…福崎文吾九段、浦野真彦八段、脇謙二八段
- ・ゲスト…桐山清澄九段、古森悠太五段、中将棋連盟武田稷会長

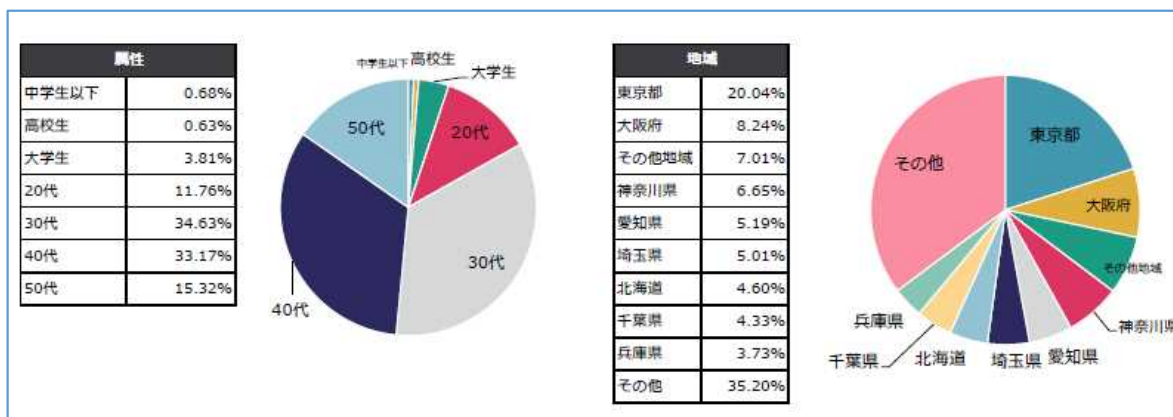
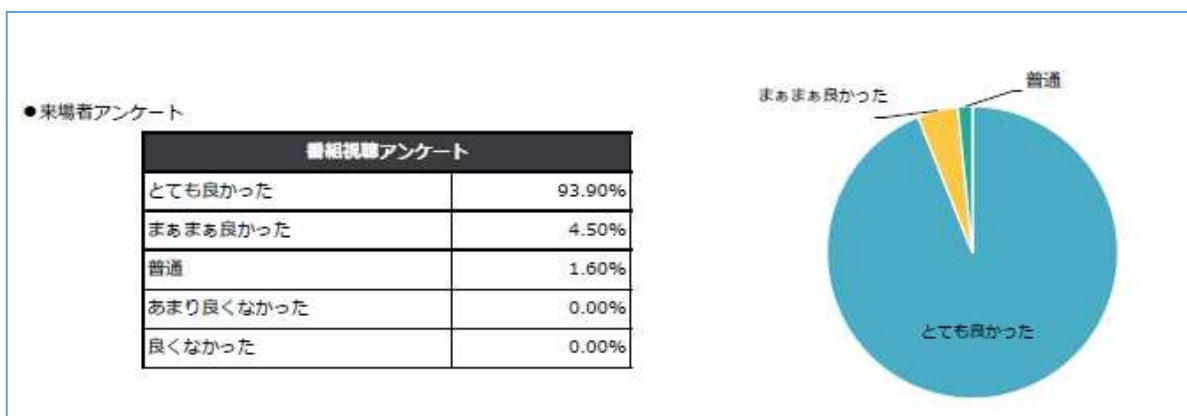
## ⑤「ニコニコ生放送」の実績について

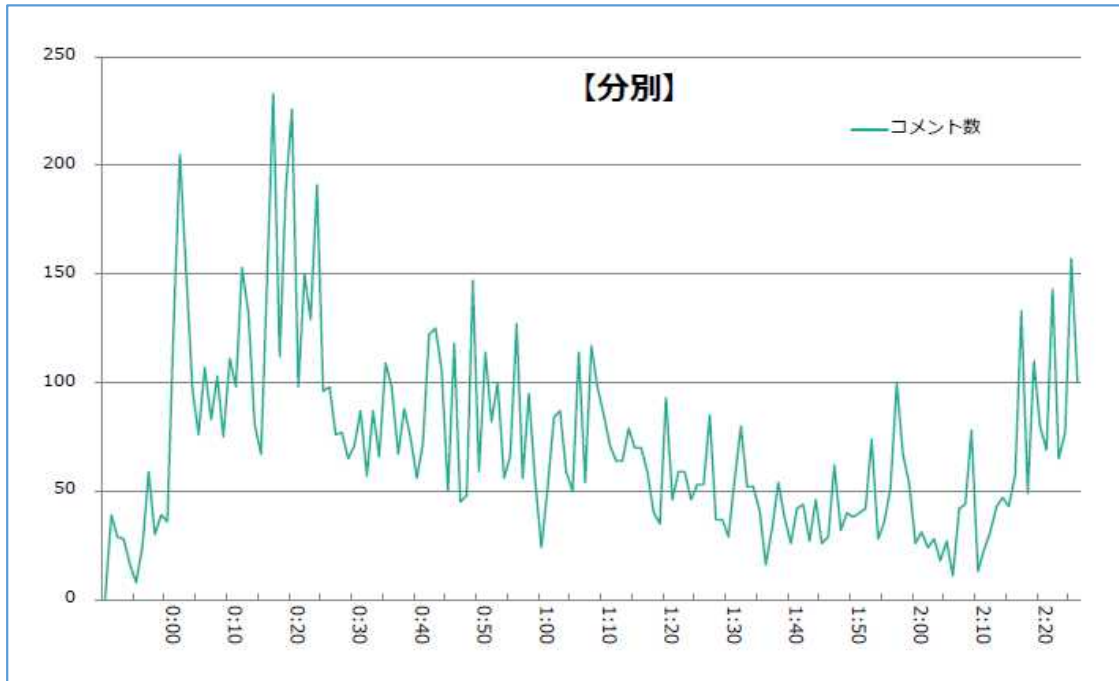
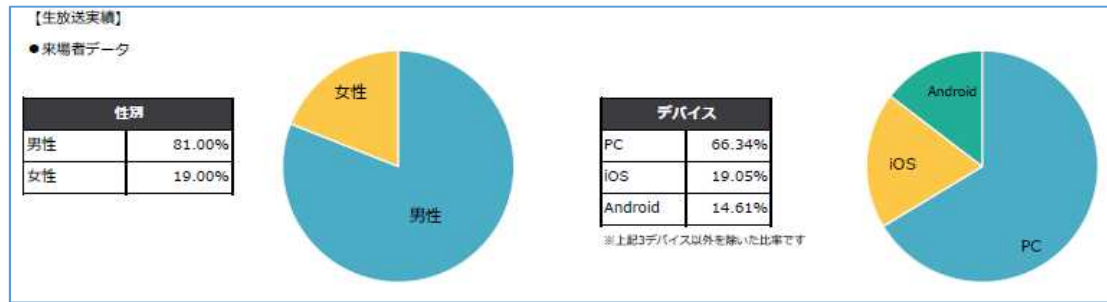
- ・放送時間…令和2年10月3日（土）午後2時～午後4時26分
- ・視聴者数…44,822人
- ・コメント数…11,371件

The screenshot shows a Nico Nico Live Broadcast interface. At the top, it says 'ニコニコ生放送'. The main banner features two men, Mayor Hamada and Mayor Yamada, with the text '市長vs町長 BOTTO たかつき 中将棋対決'. Below the banner, it says 'タイムシフトで公開中' and 'アプリで視聴する'. The video title is '【市長vs町長】BOTTOたかつき 中将棋対決～高槻市&島本町 観光連携1周年記念～'. The broadcast date is '2020/10/03(土) 開演: 14:00(02時間26分)'. The viewer count is '45,138' and the comment count is '11,371'. There are social media sharing icons for 'アプリで開く', 'Twitter', 'Facebook', and 'LINE'. The description at the bottom reads: '大阪府高槻市と島本町が観光連携協定1周年を記念して、高槻市に縁のある棋士を招き高槻市長と島本町長が中将棋で対決する様子を生放送！'.

◎視聴分析について

- 生配信中の総来視聴者数は、「44,822人」。この結果は、日中のニコニコ生放送の平均視聴数と比較しても非常に多く視聴された。  
 ※ニコニコ生放送日中平均1番組視聴者数（11：00～17：00）…16,578人
- ニコニコ動画の生配信の特徴であるコメント機能にて、視聴者同士のコミュニケーションも活発に行われた。
- 通常、ニコニコ生放送の視聴者は20代・30代が多いが、本企画は40代・50代の視聴が多く、将棋ファンの年齢層と合致している。
- 視聴者は人口が多い大都市圏が多かった。
- 将棋観王戦では、大阪の視聴は6%程度だが、当該企画は8.24%で大阪の注目が高かった。
- コメント数の時間帯で見ると、番組冒頭の中将棋連盟会長の登場及び「獅子」の駒の動き方の解説でコメント数が多く、深く掘り下げた内容のときにコメントが多い結果となり、興味・関心のある事象に比例して、注目度が高まることが実証された。





### (3) 集客導線の構築について

試行的観光プロモーションの考え方に則り、ランディングページ（特設ホームページ）での検証を行うため、サイトへの流入促進をねらい、広告配信を行った。内容としては、画像によるバナー広告及びYoutubeでの6秒動画配信である。

#### ①ランディングページ（特設ホームページ）

上記「BOTTO たかつき」を通した施策の基盤として、また広告配信と連動した観光プロモーション施策内容の検証の基盤として特設ホームページを立ち上げた。

6つの観光分野を「BOTTO ロゴ」化し、それぞれに計測タグを埋め込み、サイト内に配置する。掲載したそれぞれの観光分野をどのような人がクリックしたかを分析。分析にあたっては、外部アセット「Audience-One（オーディエンス・ワン）」を活用し、閲覧者の傾向を把握して「誰に」「どの観光資源をあてるか」「どのような施策がよいか」を検証する。

【URL】 <http://www.city.takatsuki.osaka.jp/botto/>

【サイトレビュー】



②Twitter アカウント

企業や法人、自治体組織が昨今の生活者との絆づくりを狙うにあたって、SNSの活用は欠かせないと言える。SNS上の顧客接点はロイヤリティに直結するため、各企業や自治体は運用の工夫に邁進している。特にTwitterは生活者に根強い人気があり、細かなニーズのコミュニティで盛り上がるSNSである。

本プロモーションにおいても「BOTTO たかつき」アカウントを開設し、生活者との絆づくりを目指す。自動投稿や一方的で組織らしい淡々とした投稿を避け、「いちTwitterユーザーらしいあたたかみのある投稿」で、本市により親しみを持っていただくことを狙いとした。

【アカウント名】 【高槻市公式】BOTTOたかつき @Botto\_Takatsuki

【URL】 [https://twitter.com/Botto\\_Takatsuki](https://twitter.com/Botto_Takatsuki)



**【高槻市公式】BOTTOたかつき**  
@Botto\_Takatsuki

高槻市の人気スポット、イベント、名産品などを広くPRするプロジェクトです。高槻ならではの「BOTTO」できる魅力的な体験を伝えていきます。

📍 高槻市桃園町2-1 🌐 [city.takatsuki.osaka.jp/botto/](http://city.takatsuki.osaka.jp/botto/)  
📅 2020年2月からTwitterを利用しています

27 フォロー中 121 フォロワー

👤 マイケル(夜の本気ダンス)さんにフォローされています

ツイート ツイートと返信 メディア いいね

---

**【高槻市公式】BOTTOたかつき** @Botto\_Takatsuki · 4月1日

本日4月1日、高槻市では人事異動があり  
たかつきPR係長の「はにたん」が観光シティセールス課長へと昇格しました

早速部下を厳しく指導しているようです



🗨️ 1 🔄 9 ❤️ 25 📤

---

**【高槻市公式】BOTTOたかつき** @Botto\_Takatsuki · 4月1日

エイプリルフールです (昇格していません)

🗨️ 🔄 2 ❤️ 10 📤



### ③画像によるバナー広告

バナー広告では、GDN（Google Display Network）を活用する。GDNとは、日本のインターネットユーザーの約91.3%にリーチする世界最大級の広告配信ネットワークである。GDN上で、バナー広告を関西エリアにセグメントし配信する。バナーの訴求は下記の三種類。配信期間は令和2年9月18日から10月2日までとした。

A：たかつきに、のめりこもう。

（高槻で何か新しいことが起きていることを予期させる）



B：たかつきで、なににBOTTOしよう？

（高槻にたくさんの魅力的な観光資源があることを訴求）



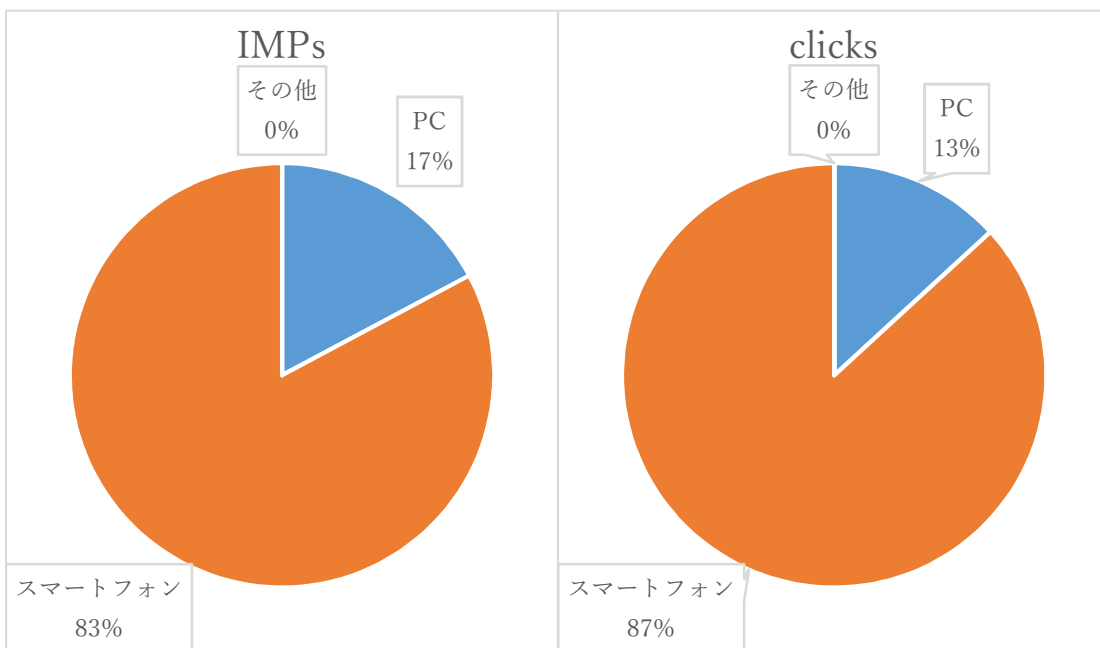
C：BOTTO 宣言！高槻市長が公開生放送！

(高槻で市長を巻き込んだ、大きなイベントが実施されることでアテンションを引く)



【配信結果】

デバイス	広告表示回数	クリック数	クリック率
合計	6,512,781	50,193	0.77%
PC	1,120,860	6,617	0.59%
スマートフォン	5,391,921	43,576	0.81%
その他	0	0	0.00%



#### ④Youtube での6秒動画広告

Youtubeでは対象者をターゲティングし動画広告の配信が可能で、スマートフォンやタブレットなどモバイル環境では最大の配信頻度となりリーチ拡大を図ることができる。6秒の短尺動画は特にモバイル環境で効果的であり、ユーザー体験を妨げずに動画視聴を促すことが可能である。広告は関西エリアに絞り込み配信した。軽快な音楽とともに「たかつきに、のめりこもう」「たかつきで、何にBOTTOしよう?」といったキャッチコピーで、高槻で何か新たな取組が始まったこと、たくさんの魅力的な観光資源があることを親しみやすく訴求した。配信期間は令和2年9月18日から10月2日までとした。

【動画広告（キャプチャ画像）】



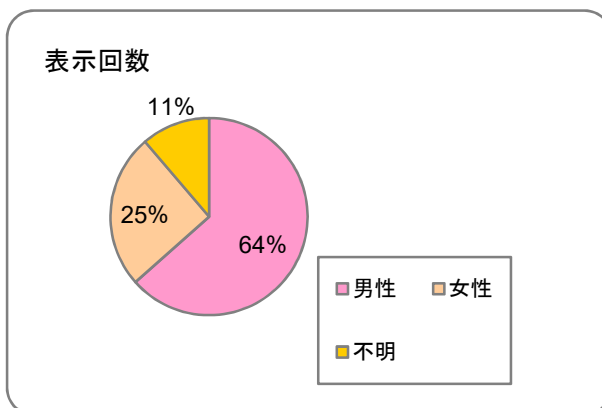




【配信結果】

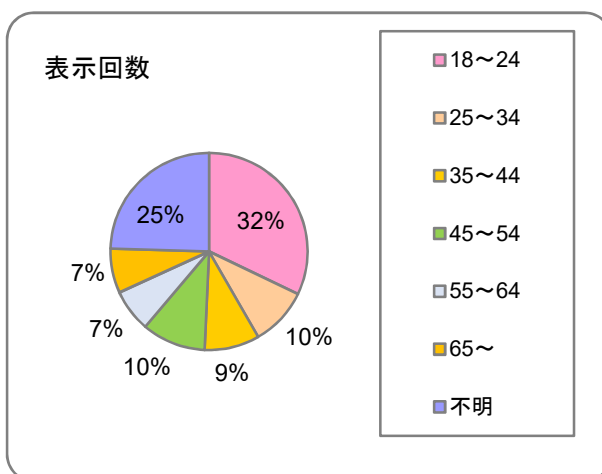
男女別

性別	表示回数
合計	1,061,473
男性	673,266
女性	268,592
不明	119,615



年齢別

年齢	表示回数
合計	1,061,473
18-24	340,855
25-34	101,848
35-44	95,776
45-54	111,073
55-64	74,147
65歳以上	77,637
不明	260,137



### ⑤ランディングページの分析について

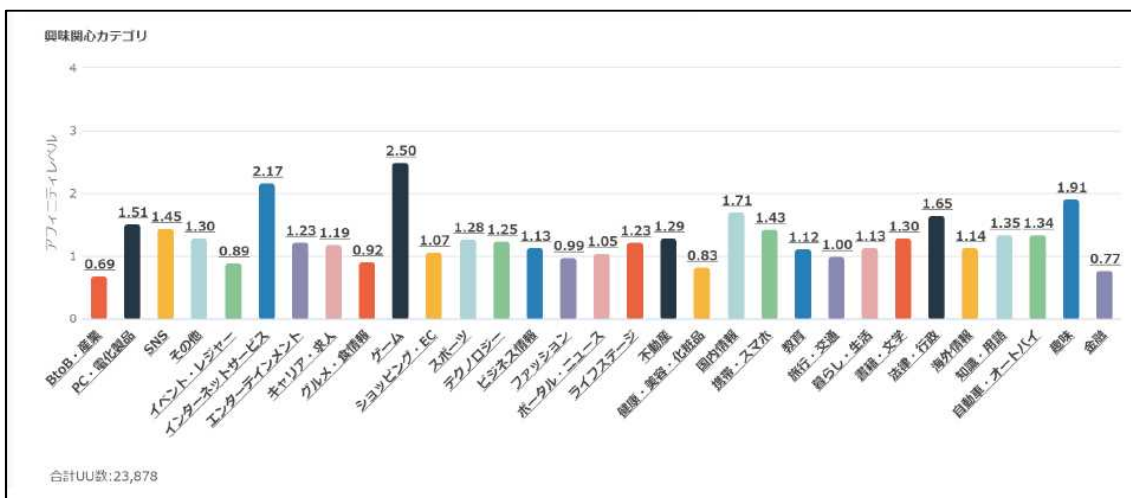
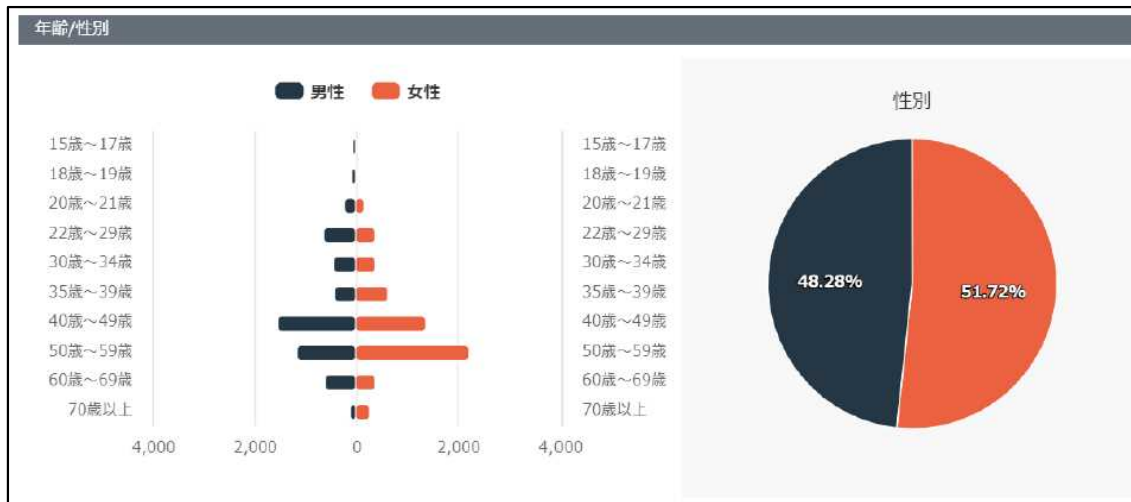
- 広告配信期間と符合して、PV数が上昇している。
- 放送終了後も一定期間ランディングページの閲覧が見られた。
- 40代、50代の閲覧者が多く、50代女性の閲覧者が多くなっている。
- 大阪府、兵庫県の閲覧者が多くなっている。
- 特設ホームページの流入者の興味関心カテゴリを見ると、「ゲーム」「インターネットサービス」「趣味」が多くなっている。

※サンプルの属性情報は、Audience-One が独自に保有するユーザーデータに基づいている

### 【Google Analytics】



【Audience-One】



#### (4) 1回目の試行的観光プロモーションにおける結果について

- Audience-One の分析結果から、プロモーションの取組の前後におけるランディングページを活用した情報発信は、ある一定の趣味嗜好が合致する視聴者の関心を得ることに効果的であったと考える。
- 企画に類似するジャンルの対象者においては、実施後も継続して関心を持ってもらえることが伺えた。
- SNSの活用は企画終了でとどまらず、例えばリツイート機能等、本市の取組を拡散する資産となって、次の企画への期待を生み出す可能性につながった。

#### (5) 考察

- 当ビジョンにおいて、「高槻好き」の育成や観光ターゲットと観光資源の選択と集中、情報発信の方法といった課題を設定し、それを解決する「伝える」の取組の方向性として、スモールマス社会へ対応しマイクロマーケティングを活用した観光プロモーションを示した。
- 今回、試行的観光プロモーションの第1弾企画として、将棋をテーマにニコニコ生放送を活用した企画を実施したが、視聴結果及び広告配信の結果を踏まえると、本ビジョンで示す方向性は一定効果があると考えられる。
- 今後の取組においても消費者一人一人の好みや需要を掘り下げた取組と情報発信を行うプロモーションの継続が効果的であると思われる。
- 令和2年度中に他のジャンルで第2弾企画を実施し、取組の方向性を再度確認する。

### 3. 新型コロナウイルス感染症等による産業・観光への影響

#### ◆新型コロナウイルス感染症の流行の経緯

- 新型コロナウイルスは、令和元年11月に中国の湖北省武漢市で「原因不明のウイルス性肺炎」として最初の症例が確認されて以降、武漢市内から中国大陆に感染が広がり、その後、中国以外の国と地域に拡大した。
- 世界保健機関（WHO）は令和2年2月28日には、この疾患が世界規模で流行する危険性について最高レベルの「非常に高い」と評価し、同3月11日にはパンデミック相当との認識を表明した。
- 日本においても令和2年1月16日に感染者が確認され、同2月27日には政府から小中高校等の一斉休校の要請が出されることになり、同4月7日には全国的に緊急事態宣言が発令されるに至った。
- 緊急事態宣言と同時に、政府は「人と人との接触を7割から8割削減できれば、感染者数を2週間後にピークアウトできる」と表明し、不用不急の外出、テレワーク等の在宅勤務の実施、店舗の営業自粛等を要請した結果、日本経済は深い経済収縮の直撃によって、消費税増税の影響が残る中、三四半期連続で大きなマイナスとなった。
- 新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策として国民への特別定額給付金の一律配布や疲弊した観光事業への支援策「GoTo トラベル事業」の実施などを打ち出し、感染拡大を防ぎながら、出口戦略を模索している。

#### ◆経済等への影響

【図表 37】

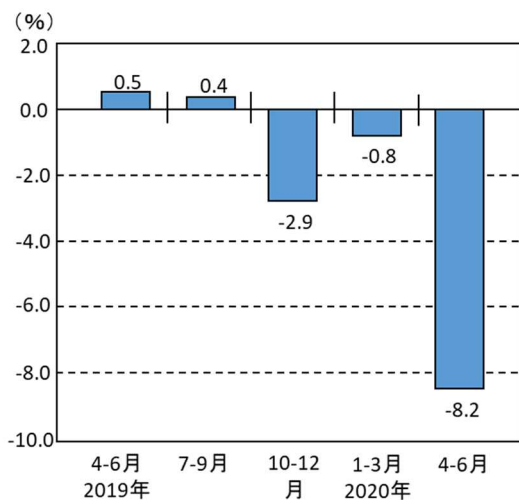


(出典) 世界銀行「Global Economic Prospects, June 2020」より

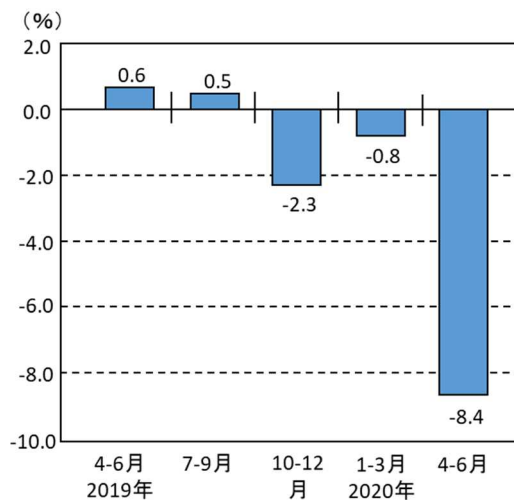
民間需要については、「コロナ禍」発生後の令和2年4月～6月期で民間最終支出が実質▲8.2%、名目▲8.4%となった。(図表38)

また、観光においては特に顕著な影響が出た。(図表39)

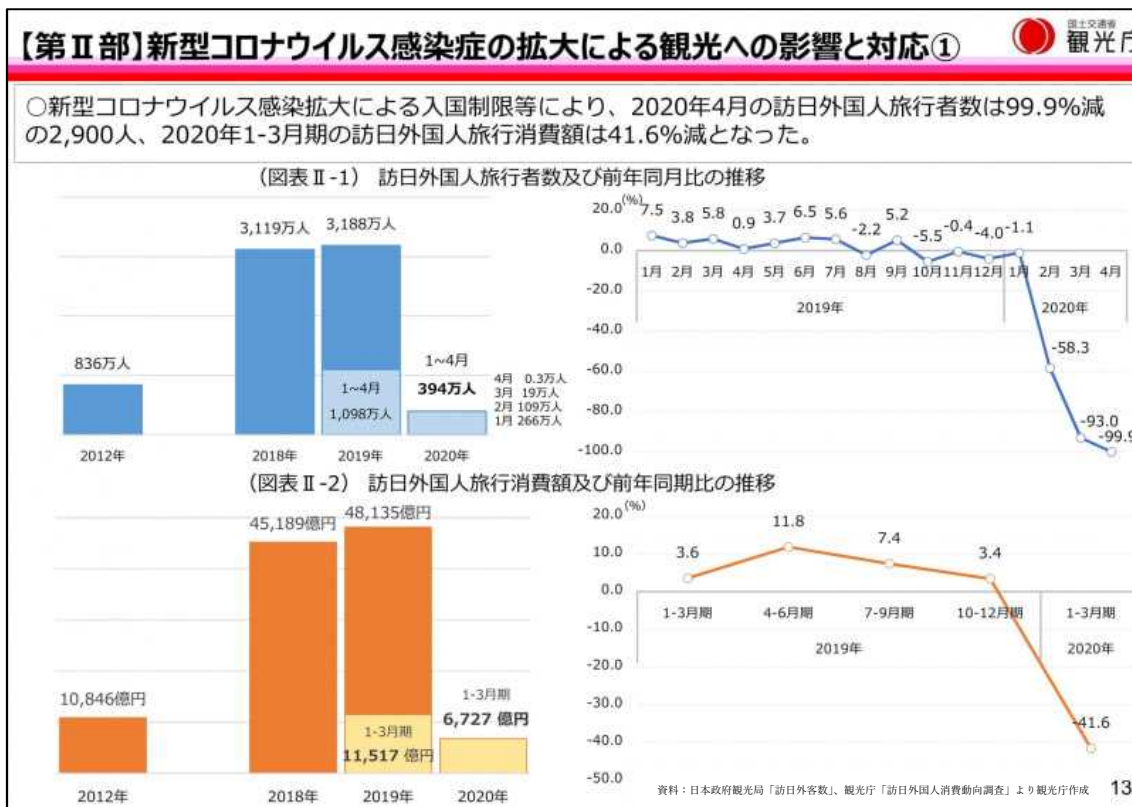
【図表38】民間最終消費支出（実質）



民間最終消費支出（名目）



【図表39】『令和2年度観光白書』より



◆**新型コロナウイルス感染症に対する、商業・工業・観光分野における市独自施策の取組（一例）**

• 休業要請の影響を受けた事業者を支援（令和2年）

大阪府から施設の使用制限による休業要請等を受け、特に深刻な影響を被っている中小企業・個人事業主を対象に、「休業要請支援金（府・市共同支援金）」を給付。

• セーフティネット等に係る融資を受けた中小企業に20万円を支給（令和2年5月）

制度融資等を活用し、事業継続に取り組む休業要請支援金対象外の市内事業者を支援するために、「高槻市中小企業等支援給付金」の受付を実施。

• 中小企業で休業要請支援金等対象外の事業者へ10万円給付（令和2年5月）

売上げが減少している市内の中小企業、個人事業主に対して新たな給付金を支給。

• 「オープンたかつき グルメ応援フェア」の開催（令和2年7月）

市内個人事業主支援策として、オープンたかつき運営会議（市・高槻商工会議所・（公社）高槻市観光協会）が参加店舗で利用できるチケット1,000円分を1枚500円で販売（利用期間2か月、総数量4,000枚）

• 「スクラム高槻 地元のお店応援券」の販売（令和2年9月）

市内店舗で使用できるプレミアム率150%（2,000円で5,000円分）の商品券を、市内約16万2000世帯を対象に販売。1世帯あたり2冊まで購入可能とした。

• 「商店街・小売市場支援給付金」の実施（令和2年10月）

市内の商店街や小売市場を対象として団体の規模に応じた給付金を支給。

◆**「コロナ禍」終息後について**

新型コロナウイルス感染症の影響により、コミュニケーションのオンライン化や先端技術の活用による業務の効率化など、生活様式や業態は急速に変化が進んでおり、市としても国等の動向を注視しながら適切に対応する必要がある。

また、今後もその他の感染症等が、産業や観光に大きな影響を与える事態も想定されるため、国等の動向を注視しながら適切かつ迅速に対応する必要がある。

## 4. 用語解説

- ICT（アイシーティー）・・・Information & Communication Technology の略。情報通信技術。（引用元：総務省 HP）
- IoT（アイオーティー）・・・Internet of Things の略で、「様々な物がインターネットにつながること」「インターネットにつながる様々な物」を指す。（引用元：総務省 HP）
- SNS（エスエヌエス）・・・ソーシャルネットワーキングサービス（Social Networking Service）の略で、登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービスのこと。友人同士や、同じ趣味を持つ人同士が集まったり、近隣地域の住民が集まったりと、ある程度閉ざされた世界にすることで、密接な利用者間のコミュニケーションを可能にしており、最近では、会社や組織の広報としての利用も増えてきている。（引用元：総務省「国民のための情報セキュリティサイト」）
- SDGs（エスディーゼーズ）・・・持続可能な開発目標（SDGs）とは、平成 13 年（2001 年）に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、平成 27 年（2015 年）9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された令和 12 年（2030 年）までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいる。（引用元：外務省 HP）



国際連合広報センターHP より

- エリアマネジメント・・・特定のエリアを単位に、民間が主体となって、まちづくりや地域経営（マネジメント）を積極的に行おうという取組。現在、民主導のまちづくり、官民協働型まちづくりへの期待から、大都市の都心部、地方の商業地、郊外の住宅地など、全国各地でエリアマネジメントの取組が実践されている。（引用元：まち・ひと・しごと創生本部 HP）



- ・コアファン・・・特定の物事に対し、ファンとして強い情熱を注ぎ続けている人、流行り廃りに左右されずにファンであり続けている人などを意味する表現。（引用元：実用日本語表現辞典）
- ・スクリーニング調査・・・特定の条件にあてはまる特性の調査対象者を絞り込む（抽出する）ために行う事前調査。
- ・スモールマス・・・マス（大多数）ではないものの、一定の規模の市場が見込める消費者の層や集団。SNS（交流サイト）の普及やビッグデータ解析の技術進展で、消費者の年齢層や性別、所得水準などによって多岐にわたる好みや嗜好に合わせた商品開発が可能になっている。

花王（株）が平成27年（2015年）ごろから「スモールマス市場」と呼びマーケティングなどに生かし始めた。共鳴するファンを持つ一定規模の市場は無数にあり、不特定多数に向けた量産型のマス市場の対極にある。（引用元：日本経済新聞）
- ・高槻創業支援ネットワーク・・・高槻商工会議所、（株）日本政策金融公庫吹田支店、京都中央信用金庫、京都信用金庫、北おおさか信用金庫、大阪府との連携によって、創業しやすい環境を整えるための取組を実施するネットワーク。（引用元：高槻市HP）
- ・地域経済循環図・・・地域の経済活動を把握するために、「生産」「分配」「支出」の3つの経済活動を通じて、お金が循環し、原則としてその3つの金額が等しくなること（三面等価）を一覧表示して確認できるようにしたもの。地域外へのお金の流出や、地域外からのお金の流入も把握できることが特徴。これにより、「生産」「分配」「支出」それぞれにおけるお金の循環や、地域内外への流出入の状況から、地域の経済活動全体を俯瞰して理解することができる。（引用元：地域経済分析サービスマニュアル）
- ・地域経済分析システム（RESAS：リーサス）・・・地方創生の様々な取組を情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）が提供しているデータベース。

自治体職員の方や、地域の活性化に関心を持つ様々な分野の方によって、効果的な施策の立案・実行・検証のためなどに広く利用されている。（引用元：地域経済分析サービスHP）

- はにたん・・・高槻市のマスコットキャラクター。8月20日に今城塚古墳で生まれた。性格は誰にでも優しくお人好し。高槻市に住んでいる人みんなのことが大好き。市民のみんなが集まるイベントが大好き。今城塚古墳で出土した武人埴輪がモデルで、自分で「はにたん」と言って生まれた。性別は不詳。



- BCP（ビーシーピー）・・・事業継続計画。企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画。（引用元：中小企業庁HP）
- MaaS（マース）・・・Mobility as a Serviceの略。「ICTを活用して交通をクラウド化し、公共交通か否か、またその運営主体に関わらず、マイカー以外の全ての交通手段によるモビリティ（移動）を1つのサービスとしてとらえ、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念」。（引用元：『国土交通政策研究所報第69号2018年夏季』）
- MICE（マイルス）・・・企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字を取った造語で、これらのビジネスイベントの総称。（引用元：日本政府観光局（JNTO）HP）